統計てきめん2 Premier

統計てきめん2プレミア

使用説明書（Ver.2.2.0）

2018.02.01 版

（国勢調査 2015 年、商業統計 2014 年データリリース版）

『統計てきめん２プレミア』利用許諾契約

本利用許諾契約（以下「本契約」とします。）は、下記に定める本ソフトウェアに関して、お客様（個人および法人）と有限会社ソルブ（以下「ソルブ」とします。）との間に締結される法的な契約です。本契約に同意されない場合、ソルブは、お客様に、以下に定義される本ソフトウェアのインストール、複製、利用のいずれも許諾することはできません。なお、お客様が本ソフトウェアをインストール、複製、ダウンロード、または利用した場合には、本契約に同意されたものとします。

第１条　定義
1.本ソフトウェアとは、アプリケーション・ソフトウェア「統計てきめん２プレミア」およびそれに関連した媒体（CD・DVD など)、アップデート（機能の変更追加）のためのソフトウェア、統計データ、ならびに印刷物（マニュアルなどの文書)、オンライン上の専用サイトまたは電子文書を含みます。
2.本ソフトウェアと併せて利用する地図ソフトウェア（「スーパーマップル・デジタル」［昭文社製］)、お客様が本ソフトウェアを利用する権利の識別もしくは更改のためのソフトウェア（パルティオソフト「ソフト電池」など）およびそれらのソフトウェアに付随する組み込みモジュール等については、別途、使用許諾契約書が添付されている場合は、それらの使用許諾契約書が優先的に適用されます。

第２条　著作権等
1.本ソフトウェアの著作権、知的所有権は、前条第２項に示すソフトウェア、組み込みモジュール等を除き、全てソルブに帰属しています。お客様は、これらのいかなる権利も、ソルブから取得するものではありません。

第３条、利用権の許諾
1.お客様は、所定の利用料の支払いおよび本契約書に記載する条件に同意する場合のみ、本ソフトウェアおよびマニュアルをインストール、ダウンロード、利用することができます。
2.本ソフトウェアをコンピュータにインストールすることによって、お客様は本契約に同意されたものとします。
3.ソルブもしくはソルブを代理する法人が、お客様に本ソフトウェアを利用するに必要なパスワードないし ID 番号等（以下「パスワード等」とします。）を付与します。
4.パスワード等を付与する方法は、文書（電子文書を含む)、もしくはオンラインによるダウンロードによるものとします。
5.お客様は、パスワード等により、本ソフトウェアの機能、期間およびその範囲が制限されていることに同意するものとします。

第４条　利用方法
1.お客様は、本ソフトウェアを、１パスワード等につき１台のコンピュータにインストールして利用することができます。
2.お客様は、ソルブまたはソルブを代理する法人から付与されたパスワード等の数を超える台数のコンピュータで、本ソフトウェアをインストールして同時に利用することはできません。
3.お客様は、本ソフトウェアをインストールした後、付与されたパスワード等を、所定の方法で本ソフトウェアに入力することで、本ソフトウェアを利用することができます。
4.　お客様は、本ソフトウェアを利用するにあたり、別途、ソルブの指定する地図ソフトウェア（「スーパーマップル・デジタル」［昭文社製］）を使用する権利を有している必要があります。
5.パスワード等により制限されている本ソフトウェアの機能、期間およびその範囲は、所定の料金を支払うことで、制限の内容を変更（利用期間の延長など）することができます。

第５条　料金および利用期間
1.本ソフトウェアの利用許諾の対価として、登録料および利用料を定め、お客様は本契約締結までにソルブに支払うものとします。
2.登録料は、別途ソルブが定めるものとします。
3.利用料は、本ソフトウェアの利用期間によって別途ソルブが定めるものとします。
4.利用期間は原則として本ソフトウェアにパスワード等を入力した日から起算し、お客様が本ソフトウェアを実質的に利用しない日であっても、これを利用期間に含めるものとします。
5.登録料および利用料に、本ソフトウェアの利用にあたって別途必要な地図ソフトウェアの価格は含まれません。
6.ソルブは、第２項に定める登録料の支払いを免除する場合があります。
7.お客様は、本ソフトウェアの利用期間中ないしは期間満了後であっても、第３項に定める利用料を継続利用料として支払うことで、利用期間を延長ないし追加することができるものとします。
ソルブもしくはソルブを代理する法人は、前項に基づき、お客様より継続利用料の支払いがあったときは、当該利用期間を延長ないし追加するためのパスワード等をお客様に付与いたします。付与の方法は第３条第３項に準ずるものとします。

第６条　サポート
1.ソルブは、本ソフトウェア独自の機能の動作不具合について、サポートサービスを提供します。
2.ソルブは、本ソフトウェアに関わるキャンペーン、サービス、イベント及びソルブのその他の商品について情報を提供します。
3.前項の方法は原則として電子メールもしくはFAXとします。

第７条　バージョンアップ
1.ソルブは、明示した動作環境（コンピュータの機種、オペレーティングシステムの種類とバージョン、ハードウェアの仕様など）において、本ソフトウェアがマニュアルにしたがって実質的に動作するよう努めます。
2.ソルブは、前項を達成するため、もしくは本ソフトウェアの機能向上のために、予告なしに本ソフトウェアのアップデートファイル、修正ファイル等を公開する場合があります。お客様は、公開されたファイルを、ソルブが指定する方法（インターネットやコンパクトディスク等による配布）で、ダウンロードまたはコピーする権利を有します。

第８条　免責事項
1.ソルブは、お客様が本ソフトウェアを利用したことで直接的、間接的に発生する損害（ビジネス機会の損失、事業の中断、情報の喪失、コンピュータの誤作動など）について、いかなる場合もその責を負いません。
2.お客様が意図する目的を達成するため本ソフトウェアを利用することおよびお客様が本ソフトウェアを利用した結果についての責任は、全てお客様が負うものとします。

第９条　ソフトウェアの譲渡禁止
1.お客様は、本ソフトウェアおよびその利用権を第三者に譲渡ないし貸与することはできません。

第１０条　禁止事項
1.お客様は、次のことを行うことはできません。
a.ソルブの許可なく、本ソフトウェアを複製、改変すること。
b.ソルブの許可なく、本ソフトウェアを利用した結果を、営利目的で第３者に提供すること。
d.ソルブの許可なく、本ソフトウェアを解析、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルすること。
e.本ソフトウェアおよびマニュアルの知的財産権表示や商標を削除すること。

第１１条　輸出規制
1.お客様は、本ソフトウェアが日本において製品化されたものであることを認めるものとします。本ソフトウェアと付随するファイルの輸出およびダウンロードに関し、お客様は日本の法律および輸出規制を含め、本ソフトウェアに適用される国内法および国際法を遵守することに同意するものとします。

第１２条　契約期間
1.本契約は、第５条に基づき、お客様が本ソフトウェアを利用期間、効力を発するものとします。
2.本契約の終了に際し、お客様は、インストールおよびダウンロード、複製した本ソフトウェアのプログラムファイルおよびデータを、全てのハードウェアおよび記憶媒体からアンインストールまたは消去し、ソルブから提供された本ソフトウェアの媒体（CD・DVDなど）ならびに関連する印刷物（マニュアルなどの文書）をソルブに返却するか破棄しなければなりません。
3.お客様の事情により、利用期間の満了を待たずに本契約を終了する場合、お客様は、残りの利用期間に相当する利用料が返還されないことに同意するものとします。
4.本契約の終了後も第９条および第１０条は効力を有するものとします。

第１３条　契約内容の変更
本契約に含めない事項、または本契約の解釈に疑義が生じた事項もしくは変更が必要な事項については、必要に応じてソルブが変更、追加を行っていくことにお客様は同意するものとします。

第１４条　合意管轄
本契約に関し訴訟の必要が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所にすることにお客様は合意するものとします。

2008年12月1日　施行
2010年3月29日　改訂
2015年9月1日　改訂

本契約についてのご質問、お問い合わせは、ソルブまでお願いいたします。

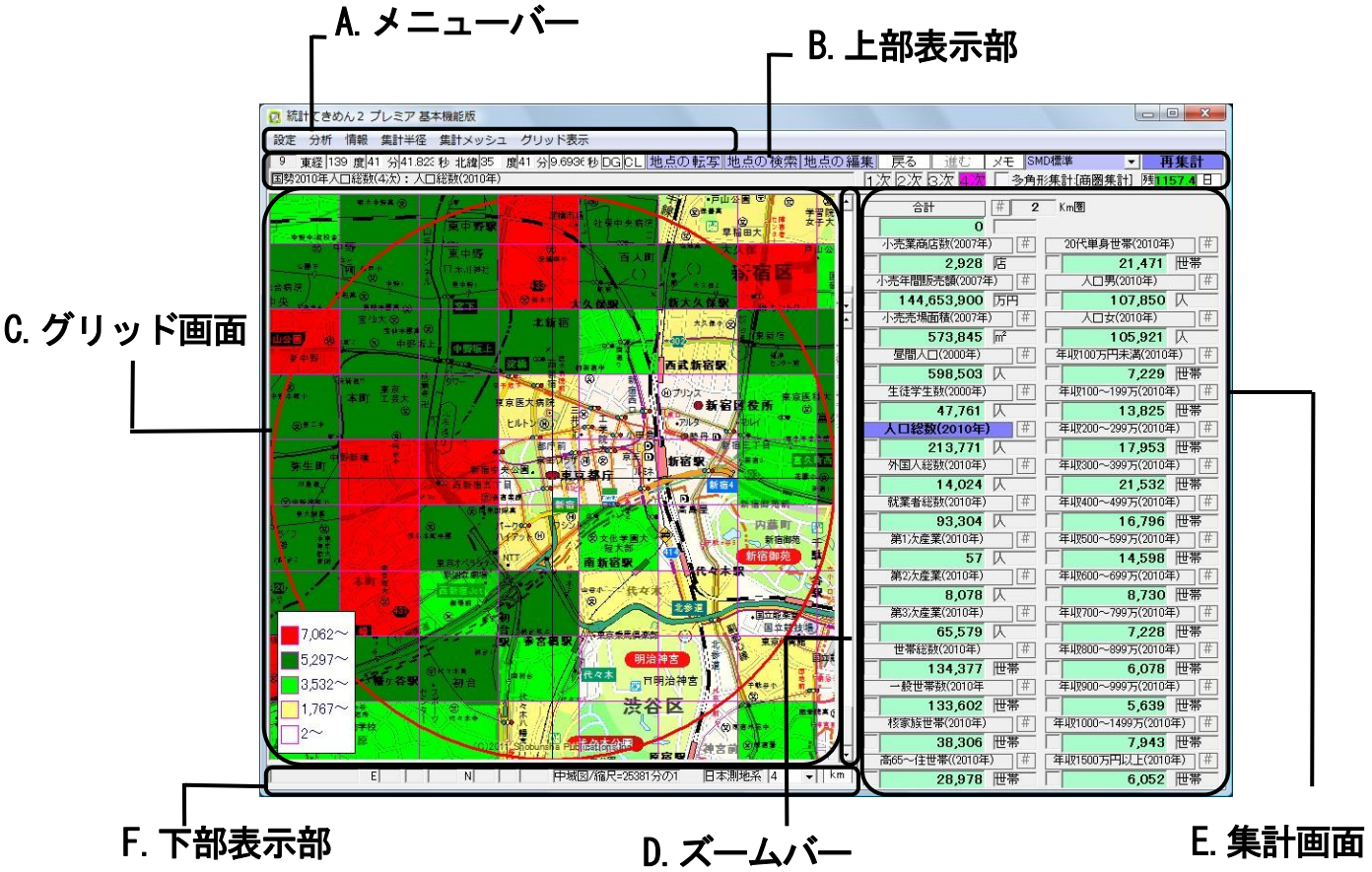
〒338-0002
埼玉県さいたま市中央区下落合4-17-18-101
E-mail　tekimen@sorb.co.jp

目次

1. 基本画面と各部の名称について 5
2. 集計中心を決めるには 14
3. 統計項目の設定 15
4. 色分けの設定 18
5. ドット数の設定 20
6. 基本設定 21
7. ソフト電池情報 27
8. 分析機能について 28
（1）年齢別人口分析 28
（2）通勤･通学分析 30
（3）経年推移分析 31
（4）年収別世帯数分析 32
（5）人口予測 33
（6）人口動態分析 35
（7）要介護者数分析 36
（8）メッシュ別分析 37
10. 印刷するには 39
11. 集計半径を変更するには 41
12. 集計メッシュを変更するには 43
13. グリッド画面の表示を変更するには 44
14. 地点の検索をするには 47
15. 地点の編集をするには 53
16. 多角形集計をするには 57
17. メモ機能について 59
18. ひとつのメッシュの詳細情報を見るには 61
19. 継続利用のお手続きについて 62

1. 基本画面と各部の名称について

「統計てきめん2プレミア」の基本画面は次のような構成になっています。



A. メニューバー

統計てきめん2プレミアの操作メニューを表示します。≫詳しくは 7 ページ。

B. 上部表示部

集計中心の座標入力や電子地図からの座標取得、移動、メモ、やり直し、再集計などの実行、およびグリッド画面表示のデータ項目名の表示を行います。

≫詳しくは 9 ページ。

C. グリッド画面

メッシュ線(罫線)、メッシュの統計値、色分け、ドット表示、駅の表示、行動ベクトル(注)の表示、十字線や多重円の表示をします。≫詳しくは 11 ページ。

D. ズームバー

バーを上下させることで、グリッド画面の縮尺を変更します。

E. 集計画面

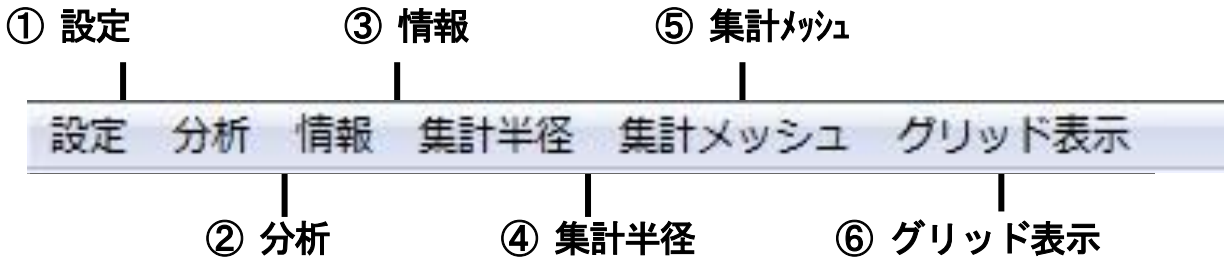
それぞれの統計項目の集計値を表示します。また、グリッド画面に表示する項目の設定や、合計値や比率値を表示します。≫詳しくは 12 ページ。

F. 下部表示部

メッシュの次数や経度/緯度を表示します。≫詳しくは 14 ページ。

A. メニューバー

「統計てきめん2プレミア」を操作するメニューを表示します。



① 設定	
統計項目の設定	集計・表示する統計項目を設定します。
色分けの設定	グリッド画面で統計値を色分けする値を設定します。
ドット数の設定	グリッド画面で統計値をドット表示する値を設定します。
基本設定	基本の設定をします。
ソフト電池情報	ソフト電池の購入や期限の確認をします。
ユーザーサポートに接続	ブラウザを開いて、ユーザーサポートのページに接続します。
統計てきめん２プレミアを終了する	「統計てきめん2プレミア」を終了します。

② 分析	
年齢別人口分析	年齢別人口分析を表示します。(詳しくは 29 ページ)
通勤・通学分析	通勤・通学分析を表示します。(詳しくは 31 ページ)
経年推移分析	経年推移分析を表示します。(詳しくは 32 ページ)
年収別世帯数分析	年収別の世帯数を表示します。(詳しくは 33 ページ)
人口予測	人口予測を表示します。(詳しくは 34 ページ)
人口動態分析	人口動態分析を表示します。(詳しくは 36 ページ)
要介護者数分析	要介護者数分析を表示します。(詳しくは 37 ページ)
メッシュ別分析	グリッド画面のメッシュ別に表示します。(38 ページ)

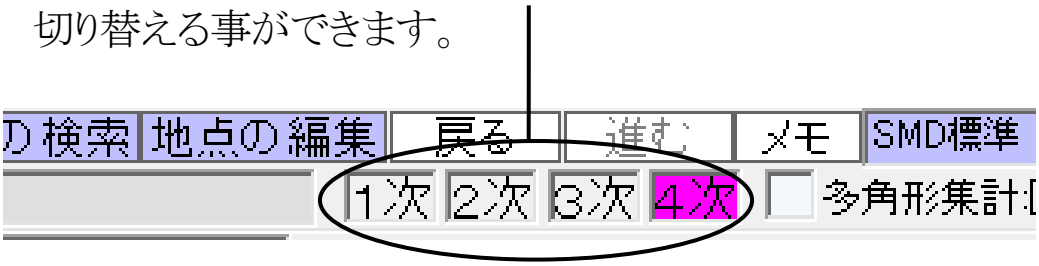
③ 情報	
集計中心の座標コピー	集計中心の座標をコピーします。
集計結果のコピー	集計画面で表示された集計結果をコピーします。
ｸﾞﾘｯﾄﾞﾃﾞｰﾀのコピー	グリッド画面に表示されたメッシュの統計値をコピーします。
ｸﾞﾘｯﾄﾞ画像のコピー	グリッド画面に描画されている画像をそのままコピーします。
画面全体のコピー	基本画面全体をそのままコピーします。
印刷	グリッド画面および集計値の印刷を行います。

④ 集計半径	※表示される数値はメッシュによって変わります。 以下は4次メッシュのものです。
250m	集計半径を250mに切り替えます。
500m	集計半径を 500mに切り替えます。
・・	上記と同様です。
5km	集計半径を 5kmに切り替えます。
任意の半径	集計半径を任意の大きさに変える画面を表示します。
条件を満たす範囲	人口もしくは世帯数の一定条件を満たす範囲を計算します。

⑤ 集計ﾒｯｼｭ

１次メッシュ	一辺が約 80kmの1次メッシュの集計/表示に切り替えます。
２次メッシュ	一辺が約 10kmの2次メッシュの集計/表示に切り替えます。
３次メッシュ	一辺が約 1kmの3次メッシュの集計/表示に切り替えます。
４次メッシュ	一辺が約 500mの4次メッシュの集計/表示に切り替えます。

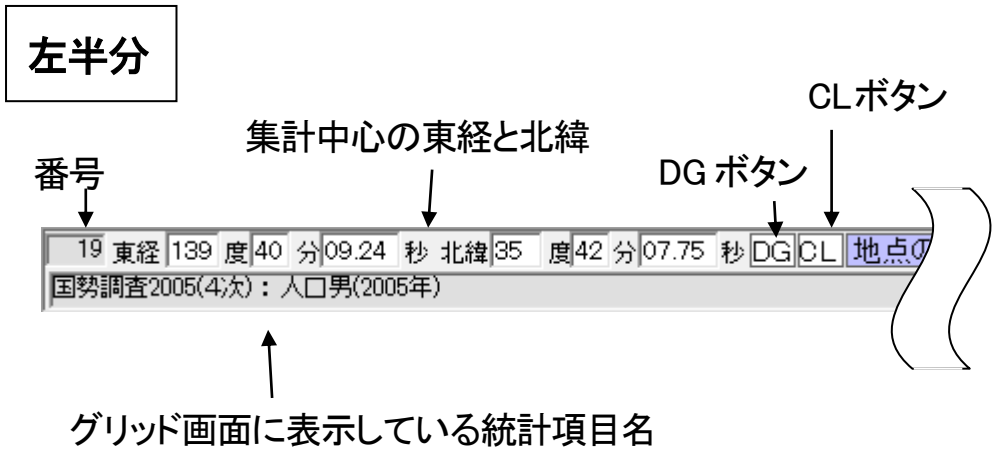
※画面上部にある[**メッシュボタン**]をクリックしても
切り替える事ができます。

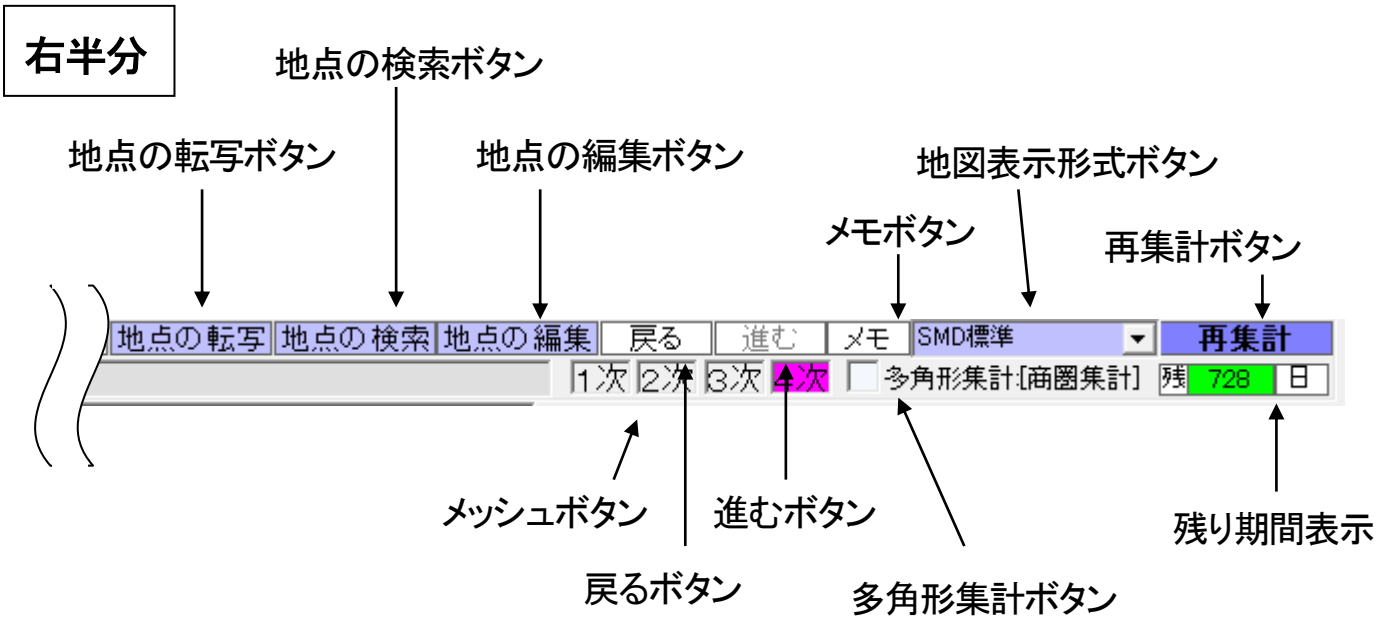


⑥ グリッド表示　　グリッド画面の表示を切り替えます。

統計値	メッシュごとの統計値表示/非表示を切り替えます。
色分布	メッシュごとの色分け表示/非表示を切り替えます。
ドット分布	メッシュごとのドット表示/非表示を切り替えます。
メッシュ線	メッシュ線の表示/非表示を切り替えます。
駅	駅の表示/非表示を切り替えます。
行動ベクトル	行動ベクトルの表示/非表示を切り替えます。
スケール円	スケール円の表示/非表示を切り替えます。 また、その表示方法には、スケール円のみの表示と、 km付きの表示から選べます。
集計円	集計円の表示/非表示を切り替えます。
十字線	十字線の表示/非表示を切り替えます。
地図	地図の表示/非表示を切り替えます。
地点リスト	追加された地点リストの表示/非表示を切り替えます。

B. 上部表示部


左半分
CLボタン
集計中心の東経と北緯
番号
DG ボタン
19 東経 139 度 40 分 09.24 秒 北緯 35 度 42 分 07.75 秒 DG CL 地点の
国勢調査2005(4次)：人口男(2005年)
グリッド画面に表示している統計項目名

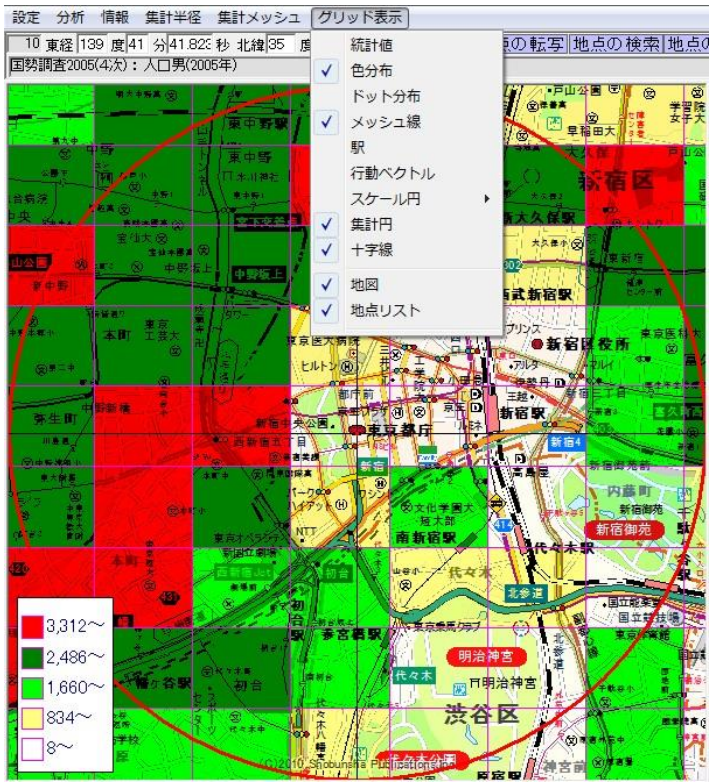

右半分
地点の検索ボタン
地点の転写ボタン
地点の編集ボタン
地図表示形式ボタン
メモボタン
再集計ボタン
地点の転写 地点の検索 地点の編集 戻る 進む メモ SMD標準 再集計
1次 2次 3次 4次 多角形集計:[商圏集計] 残 728 日
メッシュボタン
進むボタン
残り期間表示
戻るボタン
多角形集計ボタン

番号	起動してから操作した連番を表示します。
集計中心の東経と北緯	集計中心の座標(経度と緯度)を表示します。また、座標を直接ここに手入力して集計中心を移動させることができます。
DG ボタン	「度(Degree)単位」と「度・分・秒単位」を切り替えます。
CL ボタン	表示をクリアします。再度クリックすると元の座標が再表示されます。
地点の転写ボタン	電子地図で座標をコピーした後にクリックするとその座標が集計中心として転写され、再集計されます。地点をコピーする電子地図は、「ゼンリン社製電子地図帳 Zi シリーズ」または「プロアトラス社SV シリーズ」を使ってください。詳しくは本書 16 ページ。
地点の検索ボタン	地点を検索します。詳しくは 48 ページ。
地点の編集ボタン	地点の編集をします。詳しくは 54 ページ。
戻るボタン	直前に集計した画面に戻ります。
進むボタン	「戻るボタン」をクリックする前の画面に戻ります。
メモボタン	メモ画面が開きます。
地図表示形式ボタン	地図の表示形式を選択できます。
再集計ボタン	設定などを変えた時に、集計をやり直します。
メッシュボタン	メッシュを切り替えます。
多角形集計ボタン	多角形図形を作図します。 詳しくは本書 58 ページ。
残り期間表示	本ソフトの利用可能な期間を表示します。

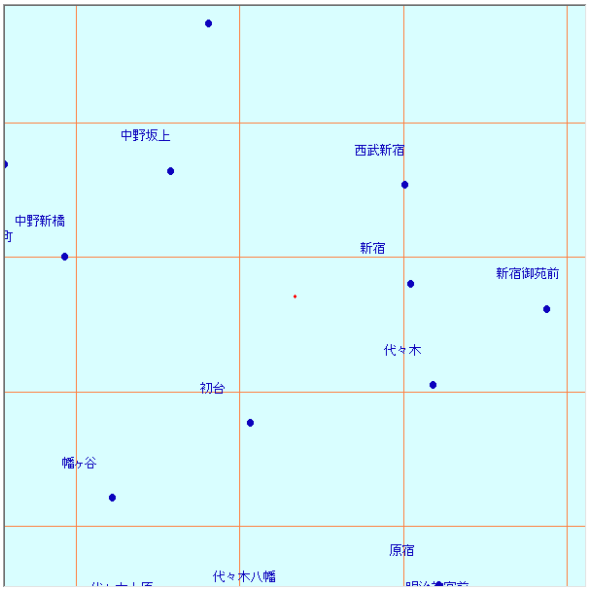
C. グリッド画面

メッシュ線(罫線)、メッシュの統計値、色分け、ドット表示、駅の表示、行動ベクトル(注)の表示、十字線やスケール円の表示をします。

下図は出荷時の状態(初期設定)です。
メニューバーの「グリッド表示」では、色分布、メッシュ線、集計円、十字線、地図、集計地点がチェックされています。



下図は、メッシュ線と　駅　だけを表示させた状態です



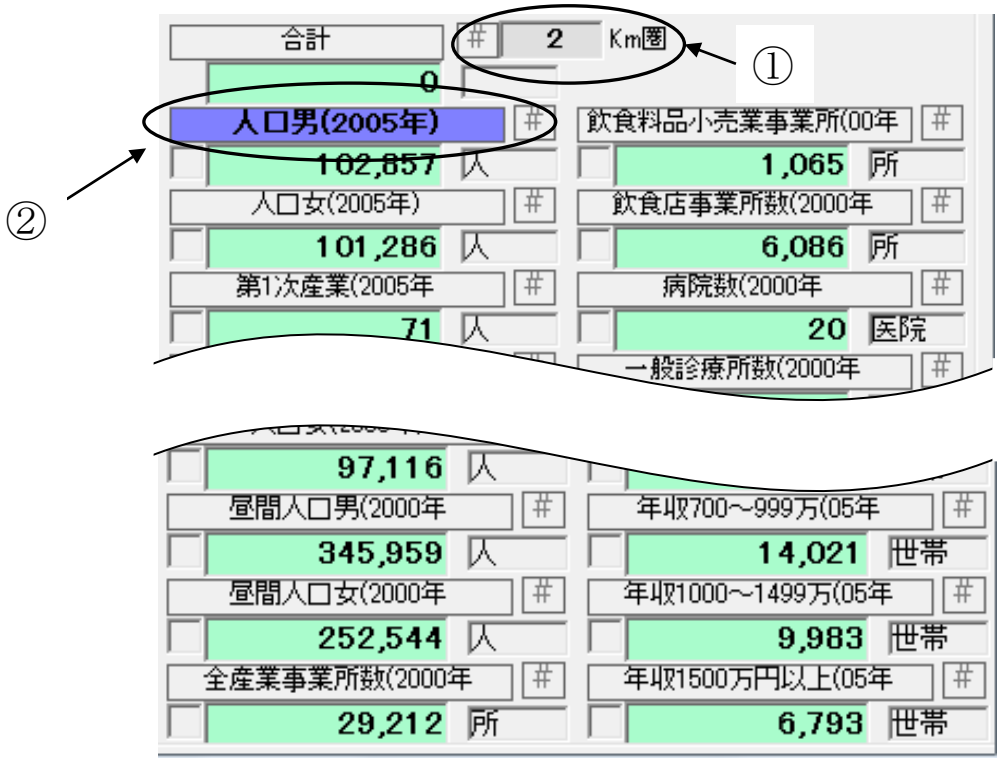
■グリッド画面上で右クリックをすると、その場所を中心に再集計をおこないます。

E. 集計画面

それぞれの統計項目の集計値を表示します。
また、グリッド画面に表示する統計項目を設定したり、合計値や比率値を表示します。

● **最初の状態**

①**それぞれの統計項目の○km圏内の集計値**が表示されます。
（下図では、2km圏）
グリッド画面では、集計円が赤色（変更可）で示されます。



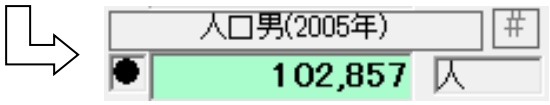
②**グリッド画面に表示される統計項目**は、それぞれの項目名ボタンをクリックするとで変更できます。
上記では、[人口男(2005 年)]のメッシュの項目値が表示されています。

集計画面で表示される統計項目数は**30項目**です。

メニューバーの[設定]→[統計項目の設定]で、項目を変更することができます。　　＞詳しくは、16 ページ。

● **合計の状態**

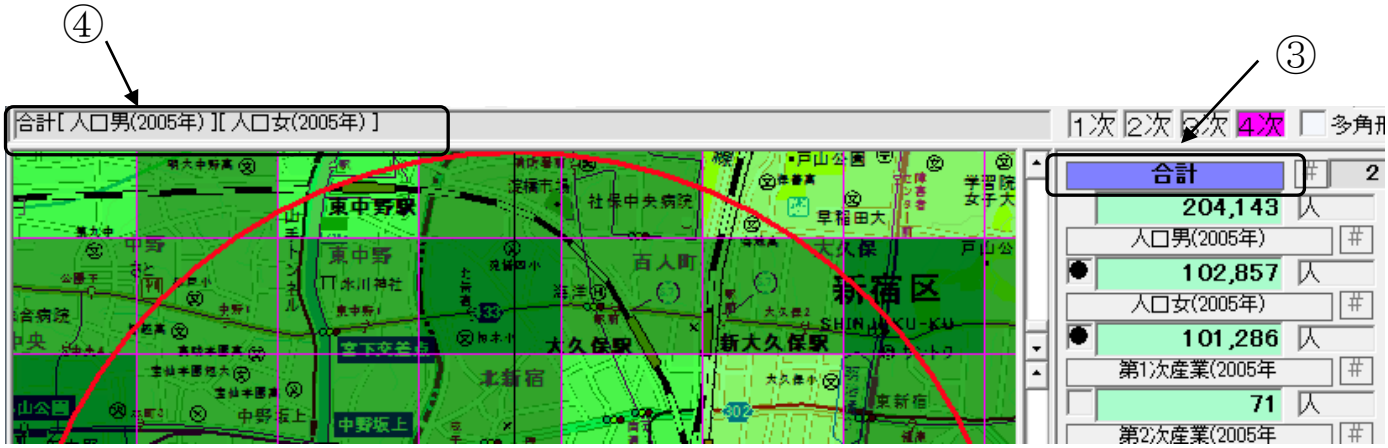
集計値欄の左にある□をクリックして●を入れると



その項目の集計値が合計されて、[合計]ボタンの下に表示されます。

③また、その[合計]ボタンをクリックすると、グリッド画面のメッシュデータも合計された値になります。

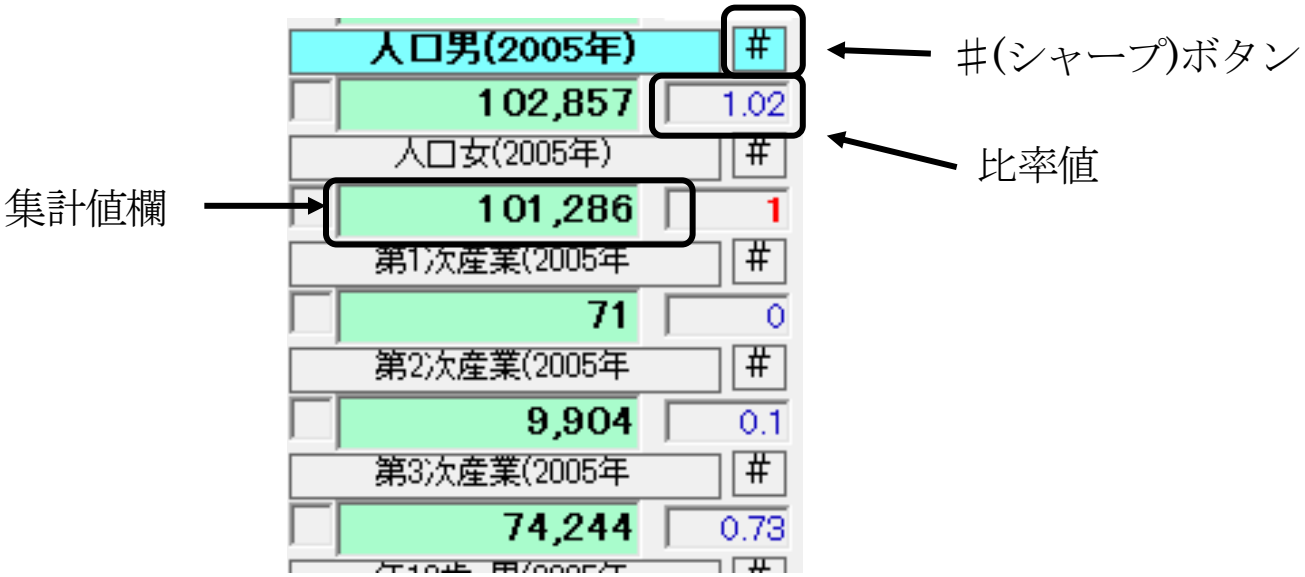
④下図では「人口男(2005 年)」と「人口女(2005 年)」の合計が表示されています。



● **比率の状態**

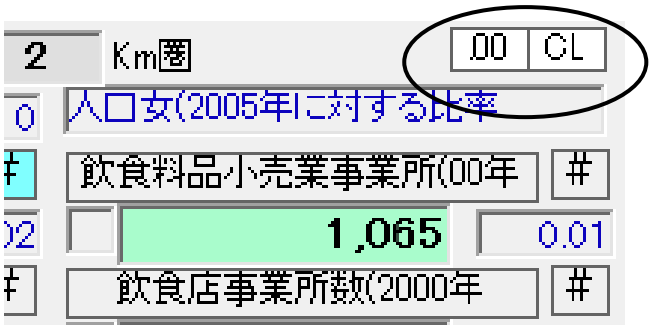
⑤**集計値欄**をクリックすると、その統計項目を「1」とした場合の各統計項目の「比率値」がそれぞれの集計値欄の　右欄に表示されます（下図では、[人口女(2005 年)]の値を「1」としています）。

⑥また、この状態で、比率値の上にある　#(シャープ)ボタンをクリックすると、グリッド画面には、その比率値が表示されます



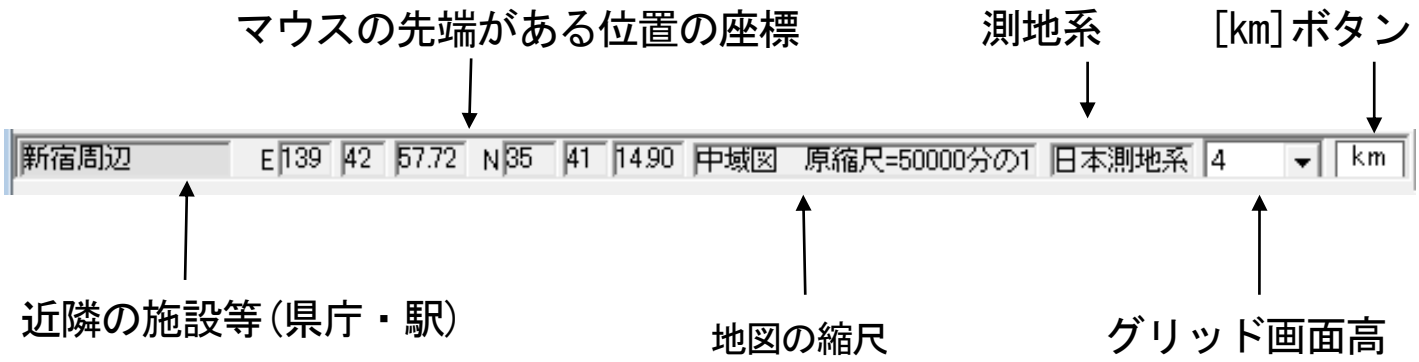
●[.00]ボタンと[CL]ボタン

集計画面が、比率の状態になると、この画面の右上に[.00]ボタンと[CL]ボタンが表示されます。



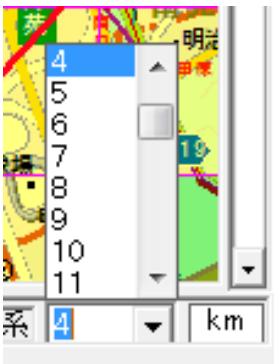
[.00]ボタン　は、比率値の小数点以下の桁数を 0 から 4 桁の範囲で切り替えます。
[CL]ボタンをクリックすると、比率の状態を終了します。

F. 下部表示部



グリッド画面高とは、グリッド画面上端から下端までの長さ(地図上の長さ)です。

グリッド画面高の右の▼をクリックして上下の高さ(左右の幅と等しい)を選んでから[km]ボタンをクリックするとグリッド画面高を変えることができます。
また、任意の数値を手入力できます。



2. 集計中心を決めるには

「統計てきめん 2 プレミア」では、グリッド画面の中央が常に
集計円の中心(集計中心)となっております。

■グリッド画面上を右クリックする。

グリッド画面上を右クリックすると、その地点を中心に移動します。

■位置座標を直接入力する。

GPS（ジーピーエス）や特殊な地図帳などで、集計中心の
位置座標がわかっている場合は、上部表示部の
東経と北緯の欄（下図参照）に直接手入力することができます。

東経 139 度 42 分 12.44 秒 北緯 35 度 41 分 13.70 秒 DG CL

※ただしこの時、「測地系」が本ソフトの設定と一している事を確認してください。

（測地系について詳しくは資料集 5 ページを参照）

■　電子地図で地点を特定し、その位置座標をコピーする。

ゼンリン社製の**電子地図帳 Zi シリーズ**をお使いの場合は、
Zi シリーズで特定した位置座標を取り込むことができます。

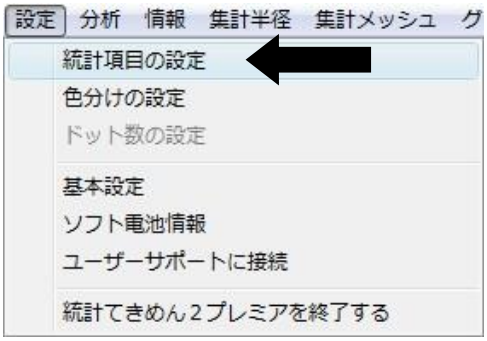
Zi シリーズ上で位置座標をコピーした後、
「統計てきめん 2 プレミア」の基本画面の上部中央にある
[地点の転写]をクリックするとその位置座標が読み込まれ、
その地点を中心に再描画/再計算を行います。

3. 統計項目の設定

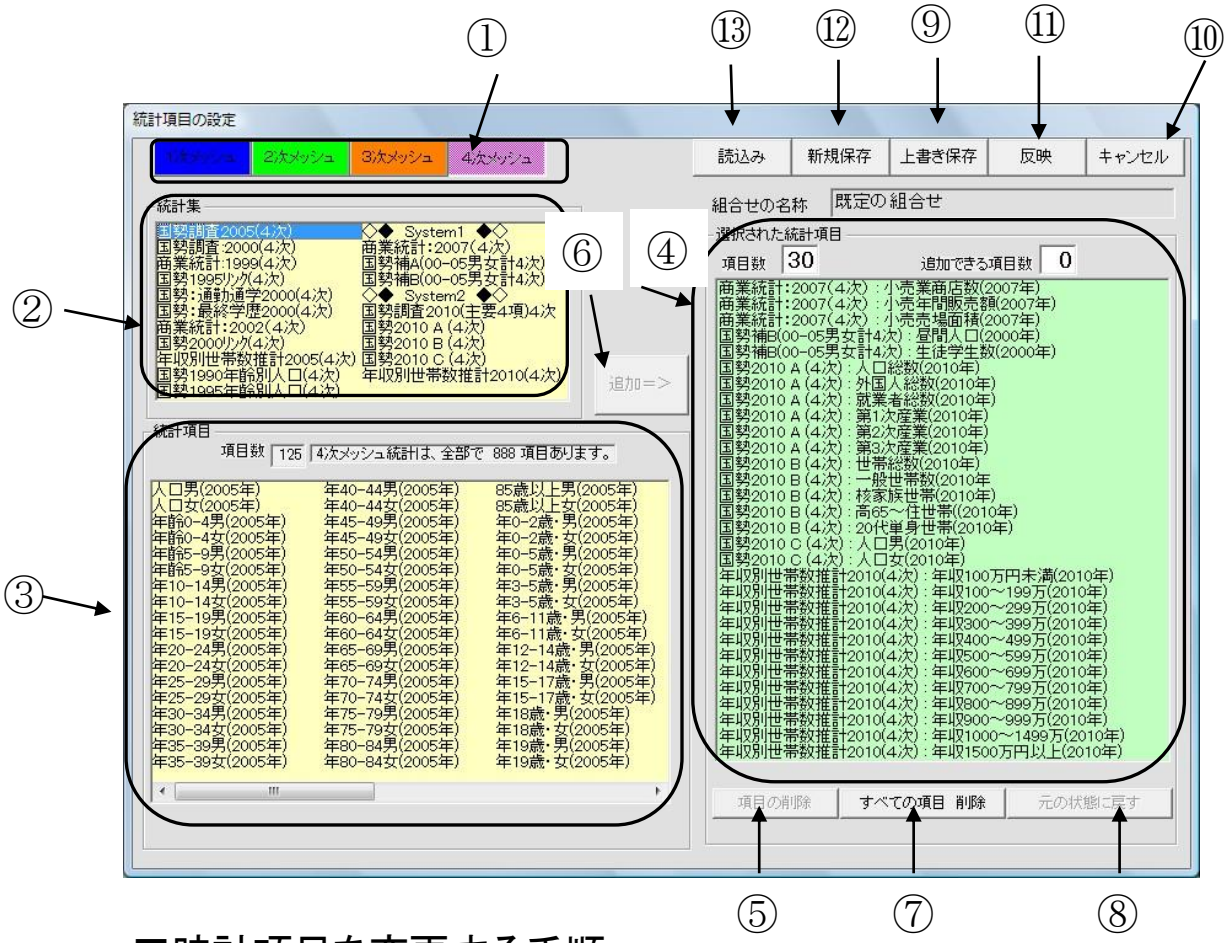
グリッド画面や集計画面で、同時に表示される統計項目は30項目までですが、この項目の組み合わせは変更することができます。
また、メッシュごとに統計項目を設定することもできます。

新たに項目を入れる手順

（1）　メニューバーで、[**設定**]をクリックすると、右の画面が出ますので、[**統計項目の設定**]を選択します。



（2）　[**統計項目の設定**]画面



■**時計項目を変更する手順**

①変更する**メッシュ**をクリック。

上図は、4次メッシュが選択された状態です。

②**統計集**が表示されます。

③選択された統計集に含まれる**統計項目**が表示されます。

④「**選択された統計項目**」欄が30項目すべて埋まっている場合、
項目を減らします。 項目のどれかをクリックすると色が反転し、
選択状態になります。

⑤[**項目の削除**]をクリックすると、④で選択された項目が削除されます。
（**項目名称をダブルクリックして削除することもできます。**）

⑥[**追加＝＞**]をクリックすると、その項目が追加されます。
（**項目名称をダブルクリックして追加することもできます。**）

■その他のボタンの働き

⑦[**すべての項目削除**]

すべての項目が選択されない状態になります。

⑧[**元の状態に戻す**]

この画面が現われたときの最初の状態に戻すことができます。

⑨[**上書き保存**]

1 度この統計てきめん2を終了してから、再び起動させた場合でも、
変更後の同じ項目の組合せで、集計・表示させることができます

⑩[**キャンセル**]

項目は元のままで、[**統計項目の設定**]画面は閉じます。

⑪[**反映**]

現在選択されている項目の組合せを集計画面に反映します。

⑫[**新規保存**]

選択された統計項目の組合せを保存します。

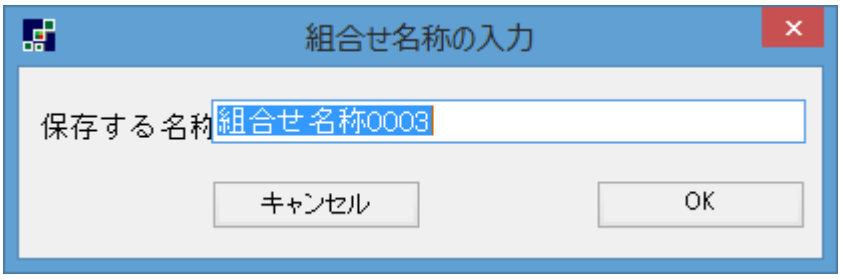
⑬[**読み込み**]

保存した統計項目の組合せを読み込みます。

（３）統計項目の組合せの保存と読み込み

■保存

[**新規保存**]ボタンをクリックすると、下の画面が現れます。



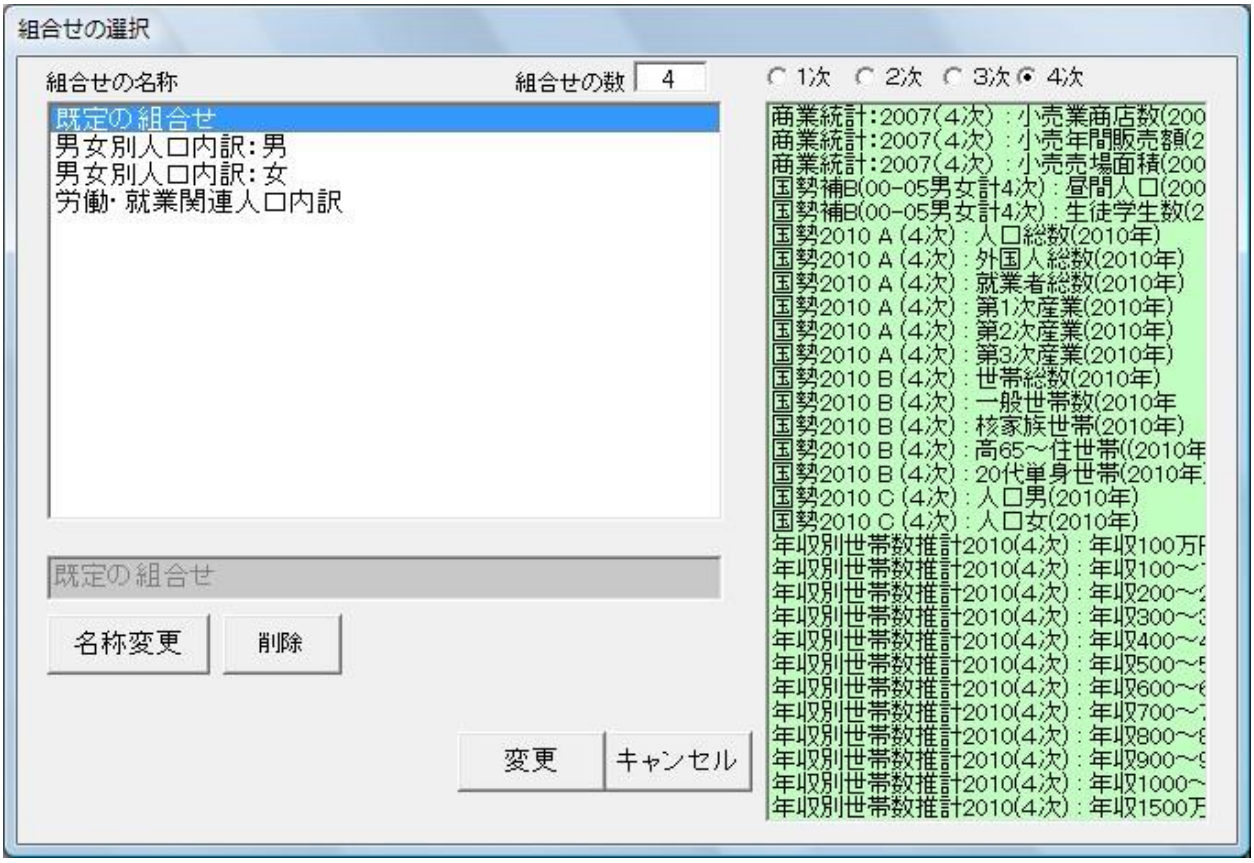
名前を入力して、[OK]をクリックしてください。

■読み込み

[**読み込み**]ボタンをクリックすると、下の画面が現れます。

どれかの項目をクリックして色を反転させた後、

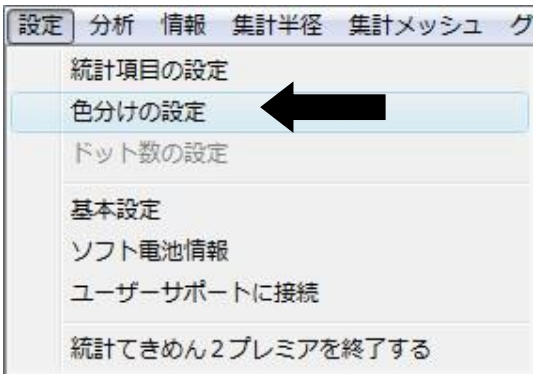
[**変更**]をクリックすると、その組合せを読み込みます。



また、[**名称変更**]ボタンや[**削除**]ボタンをクリックすると、

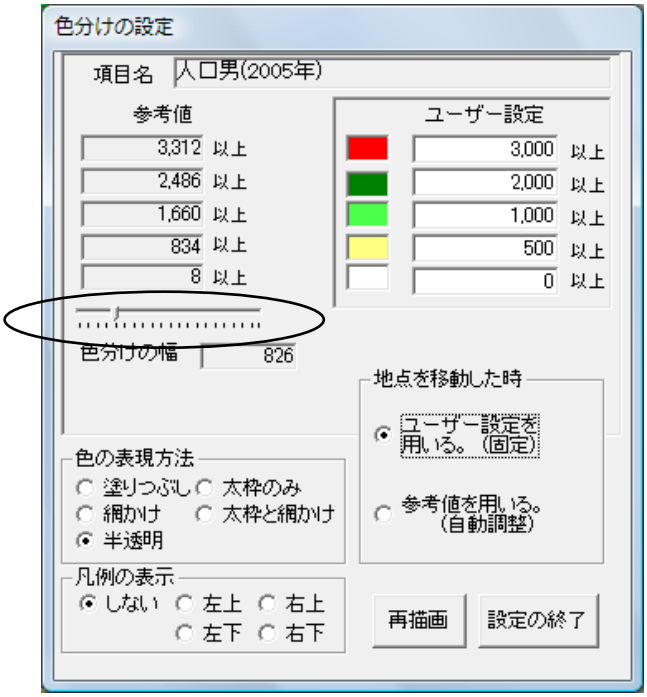
保存してある組合せの名称の変更や削除ができます。

4. 色分けの設定



グリッド表示で[色分布]に✔(チェック)してある場合に設定できます。

メニューバー[**設定**]→ [**色分けの設定**]を選択すると、[色分けの設定]画面が開きます。



[項目名]

現在グリッド画面上に色分布が表示されている項目名です。

[スライダー]

スライダーを左右に動かすことによって、色分けの幅を変化させることができます。

[ユーザー設定]

任意の数値を入力し、その値で分類する事ができます。数値を入力して、下の[**ユーザー設定を用いる(固定)**]をチェックしてください。

また、数値の左の色ボックスをクリックすると、色の設定を変更することができます。

<u>※注意点</u>

[**参考値を用いる(自動調整)**]がチェックされていると、集計地点を移動した際に同じメッシュでも色が変わってしまう場合があります。

色が変わらないようにするには、[**ユーザー設定を用いる(固定)**]をチェックしてください。

色の表現方法

メッシュの色分けには、5 つの方法があります。

[塗りつぶし]　→メッシュを色で塗りつぶします。

※　背景に画像がある場合でも、その画像は見えなくなります。

[半透明]、[太枠のみ]、[網かけ]、[太枠と網かけ]

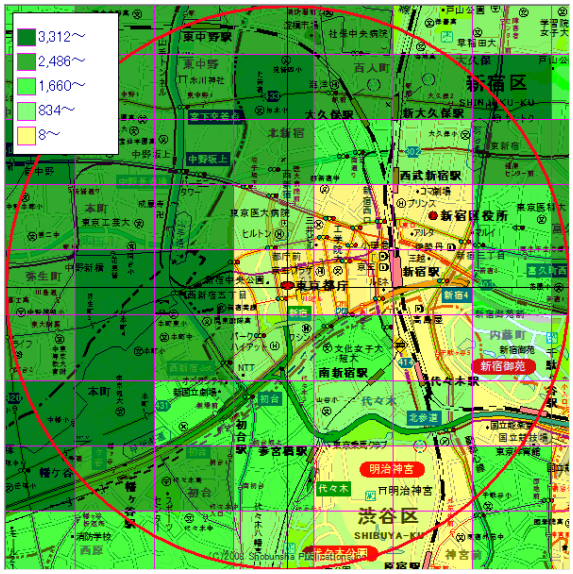
背景図（地図）が見える状態でメッシュを色分けすることができます。

下図は、**[太枠と網かけ]**で表現したものです。

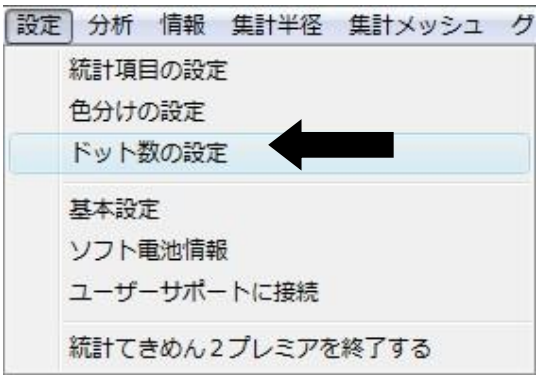
[凡例の表示]

右図は、凡例をグリッド画面の左上に表示させたものです。

凡例は、画面の左下、右上、右下に表示させることができます。



5. ドット数の設定

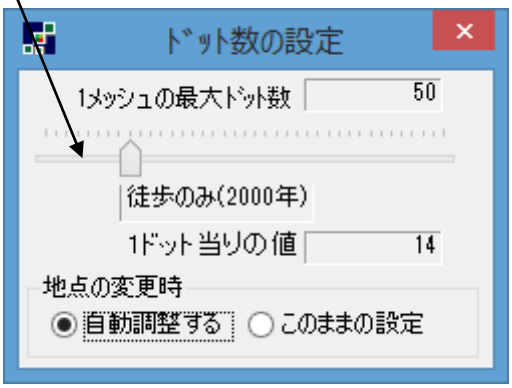


グリッド表示で[ドット分布]に✔(チェック)してある場合に設定できます。

メニューバー[**設定**]→ [**ドット数の設定**]を選択すると、[**ドット数の設定**]画面が開きます。

[**スライダー**]

スライダーを左右に動かすことによって、1ドット当りの統計値を変化させることができます。



同時に、1メッシュの最大ドット数(1メッシュに表示されるドットの数の最大値)が変化します。

また、ドットの色も変更する事ができます(本書24ページ参照)。

※注意点

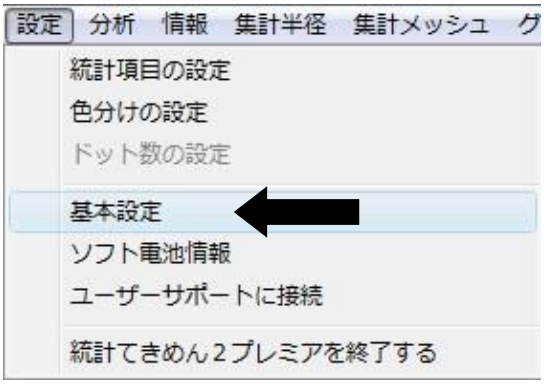
[**自動調整する**]がチェックされていると、集計地点を移動した際に同じメッシュでもドット数が変わってしまう場合があります。

ドット数が変わらないようにするには、[**このままの設定**]をチェックしてください。

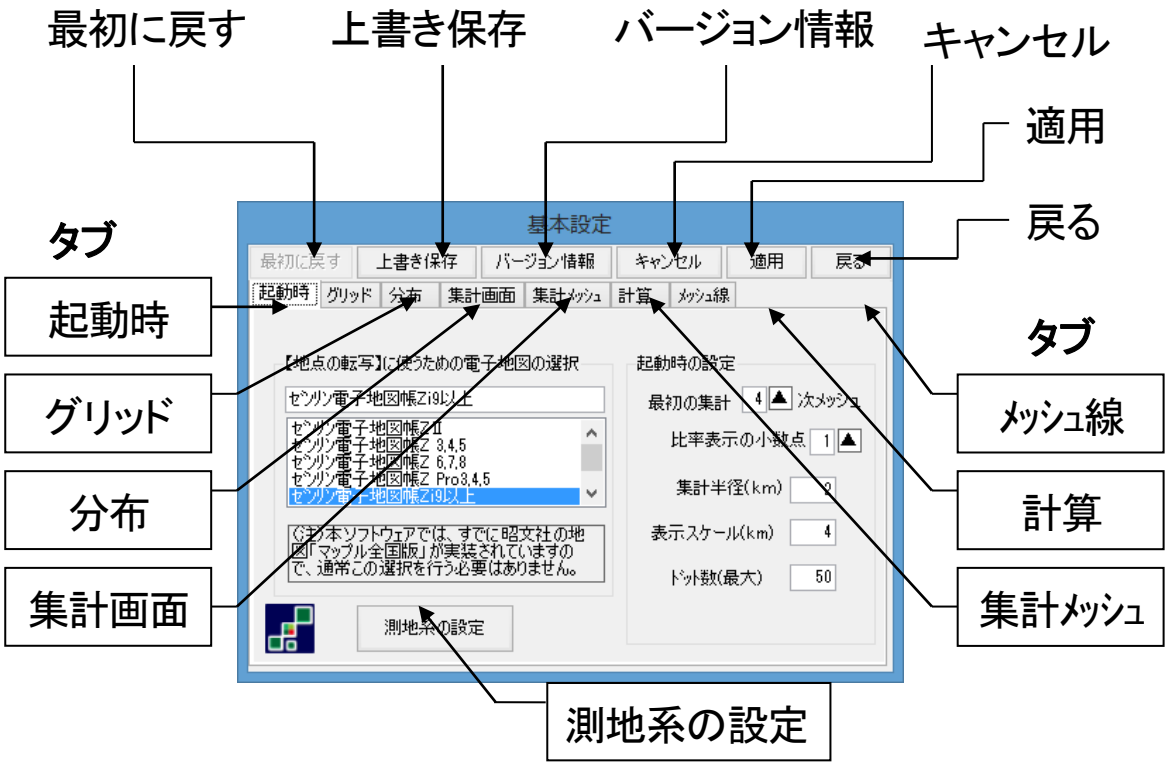
なお、「再集計」ボタンを押すごとにドットの位置が変化しますが、それはメッシュ内の描画位置がランダムであるからで、ドット数自体に変化はありません。

6. 基本設定

メニューバーの[**設定**]→[**基本設定**]の順に選択すると、[**基本設定**]画面が開きます。ここでは、各種の詳細な設定を変更することができます。



各部の名称



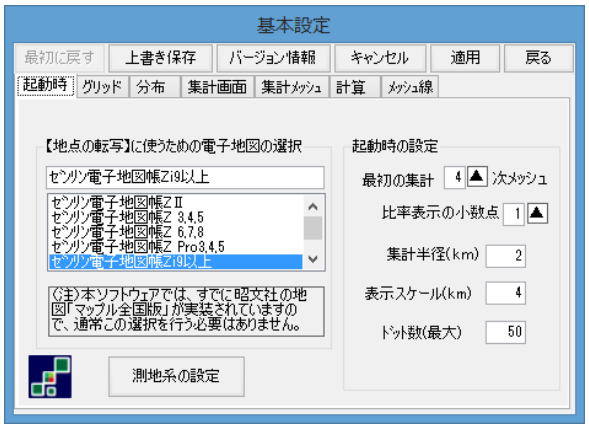
[最初に戻す]	変更前の設定に戻します。
[上書き保存]	変更後の設定を設定保存用ファイル(TekimenT.set)に上書きされます。再起動後でも、同じ設定で集計を行いたい場合は、このボタンをクリックします。
[バージョン情報]	本ソフトウェアのバージョンを表示します。
[キャンセル]	変更を反映させずに画面を閉じます。
[適用]	この画面を開いたまま、設定の変更を反映させます。
[戻る]	画面を閉じます。設定の変更は反映されます。

[起動時]タブ

[【地点の転写】に使うための電子地図の選択]

「地点の転写」機能に使う座標を取得する電子地図を指定します。

通常、この選択を行う必要はありません。



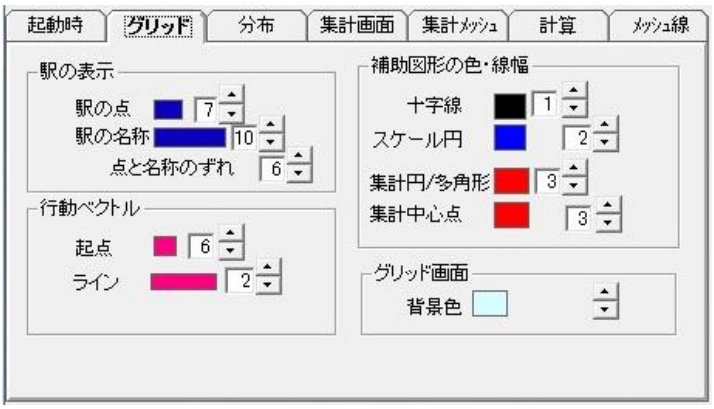
[起動時の設定]

最初の集計	1次、2次、3次、4次のいずれか
比率表示の小数点	0、1、2、3、4 のいずれかを設定できます。
集計半径(km)	任意の半径を設定できます。
表示スケール(km)	グリッド画面の表示幅を設定します。
ドット数(最大)	1 メッシュ当りの最大ドット数を設定します。

■[測地系の設定]については資料集 5 ページを参照してください。

[グリッド] タブ

グリッド画面の表示の設定をします。



変更可能な表示

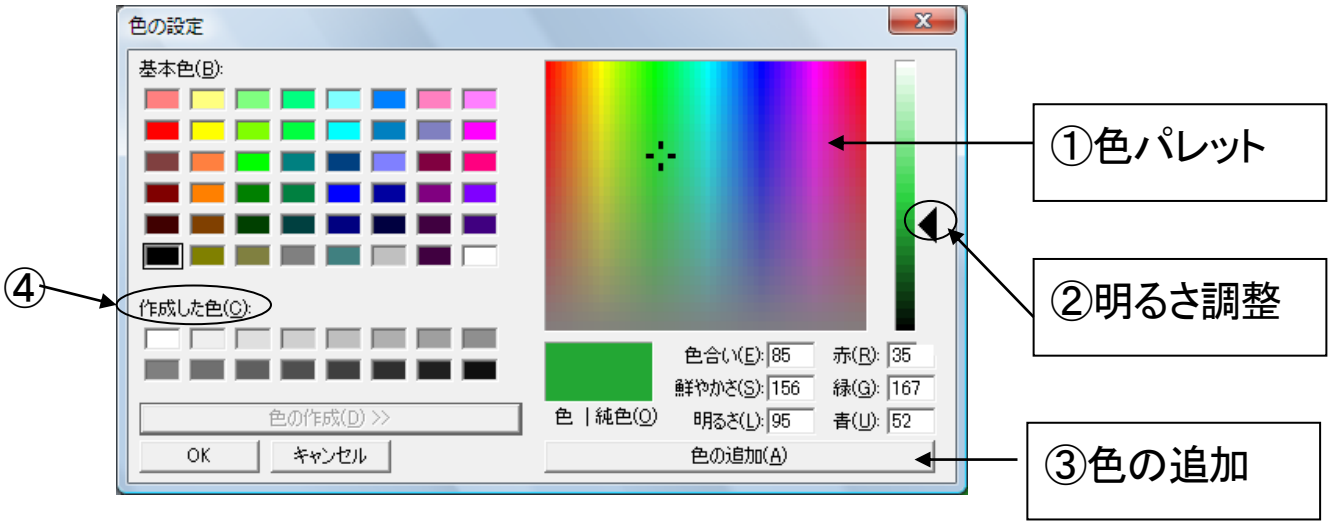
駅の表示	駅、駅の名称:点の色と大きさ、点と名称のズレ
行動ベクトル	起点、ラインの色と大きさ
補助図形	十字線、スケール円、集計円/多角形、集計中心点の色と大きさ
グリッド画面	背景色(設定後、ソフトを再起動すると反映されます。)

●色の変更は、それぞれ色のついたボックスをクリックします。

すると次の「**色の設定**」画面が開きます。

変更したい色をクリックして、OK をクリックすると、その色に変更できます。

[**色の作成(D)>>**]ボタンをクリックすると他の色を作成できます。



① [**色パレット**]内の任意の場所をクリックします。

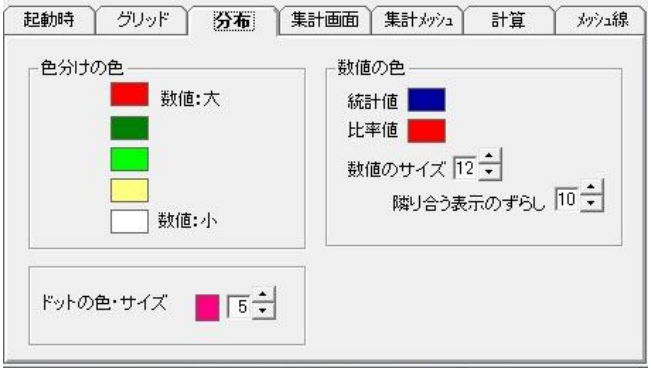
② [**明るさ調整**]を上下させて明るさを調整できます。

色を作成したら、③[**色の追加**]ボタンをクリックしてください。

すると、左側の④[**作成した色**]に、その色が追加されます。

[分布] タブ

グリッド画面での色分け、
ドットの色とサイズ、
統計値、比率値の色とサイズ、
隣り合う表示のずらしの大きさを
設定します。



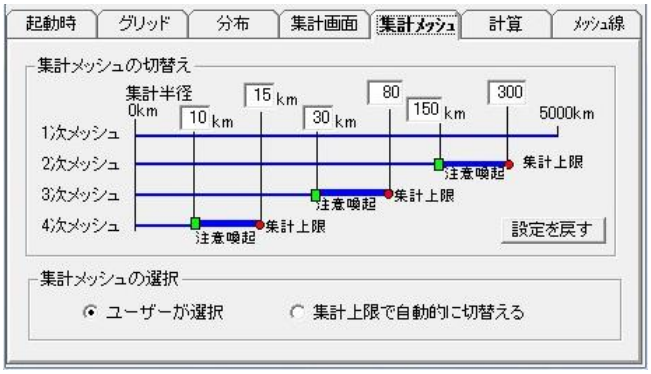
色の変更の仕方は、[**グリッド**]タブと同様です。

[集計画面] タブ

集計画面で表示される統計値、
比率値などの色を設定します。

[集計メッシュ] タブ

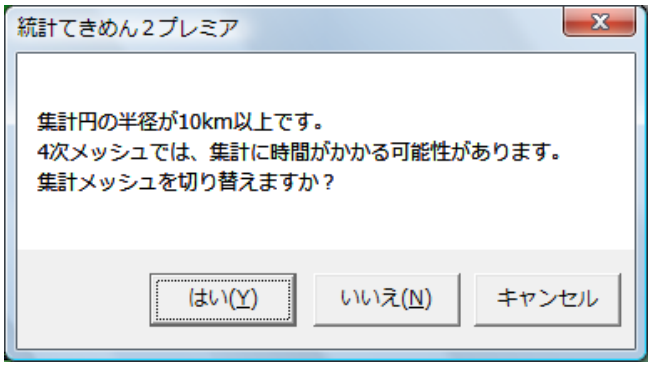
集計する半径に応じて、
その集計に用いるメッシュ
(集計メッシュと呼びます)
を切り替えます。



集計半径が小さいような場合は、
次数の大きい4次メッシュなどを使うとより正確な集計になります。
しかし、メッシュ次数が小さくなるにつれて、計算する時間がかかります
ので、あまり極端な設定はしないことをお勧めします。

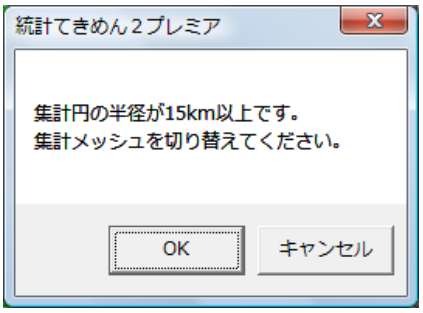
「**注意喚起**」とは・・・・

下図のような「メッシュの変更をするか否か」を問うメッセージの表示をすることをさします。



「**集計上限**」とは・・・・

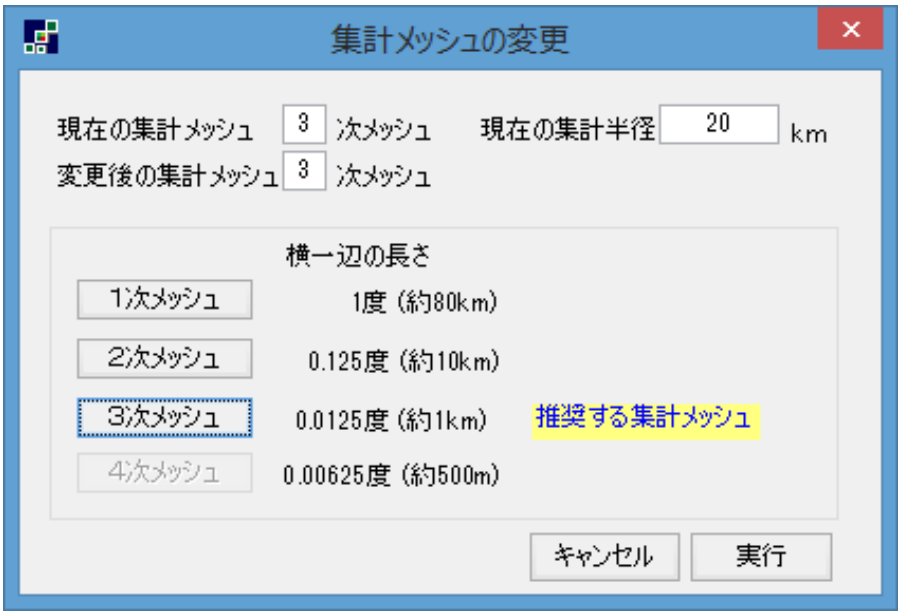
集計メッシュの次数を切り替えるよう次のようなメッセージが出すために設定する上限の集計半径(km)です。



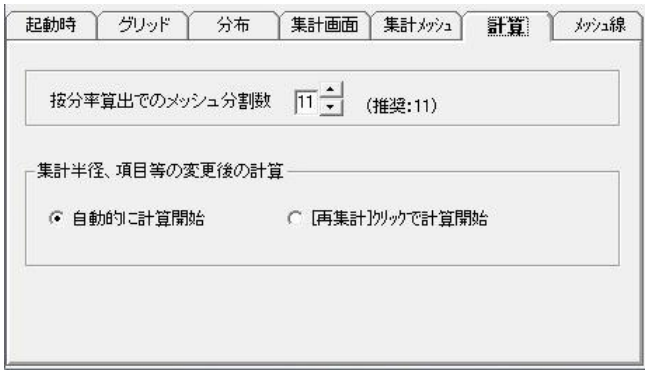
このメッセージが表示された場合、OK をクリックすると、

次のような「**集計メッシュの選択画面**」が現われます。

推奨された集計メッシュに切り替えてください。



[計算] タブ



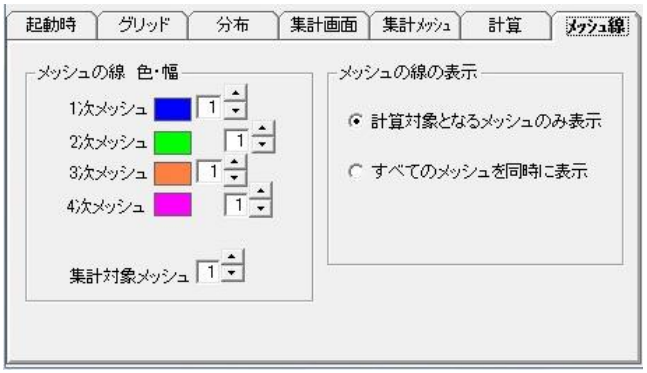
[案分率算出でのメッシュ分割数]

本ソフトウェアでの集計は
集計円がメッシュに掛った
面積比で計算しています。
この面積比を按分率と呼びます。
按分率を計算する場合、メッシュを東西 N 等分、南北 N 等分した
点を設定し、その点が集計円内にいくつ含まれているかを集計して
おります。この N を**メッシュ分割数**と呼び、推奨は 11 です。
99 までの値を設定することができ、分割数を増やすほど集計精度は
高くなりますが、その分計算速度が遅くなります。

[集計半径、項目等の変更後の計算]

通常は、「自動的に計算開始」を選択したままにしてください。

[メッシュ線] タブ



[メッシュの線 色・幅]

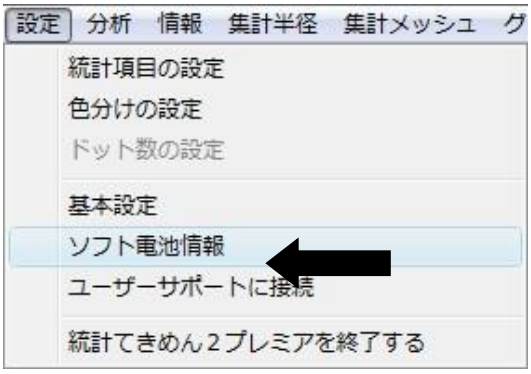
グリッド画面で表示される
メッシュ線の色と太さを設定します。

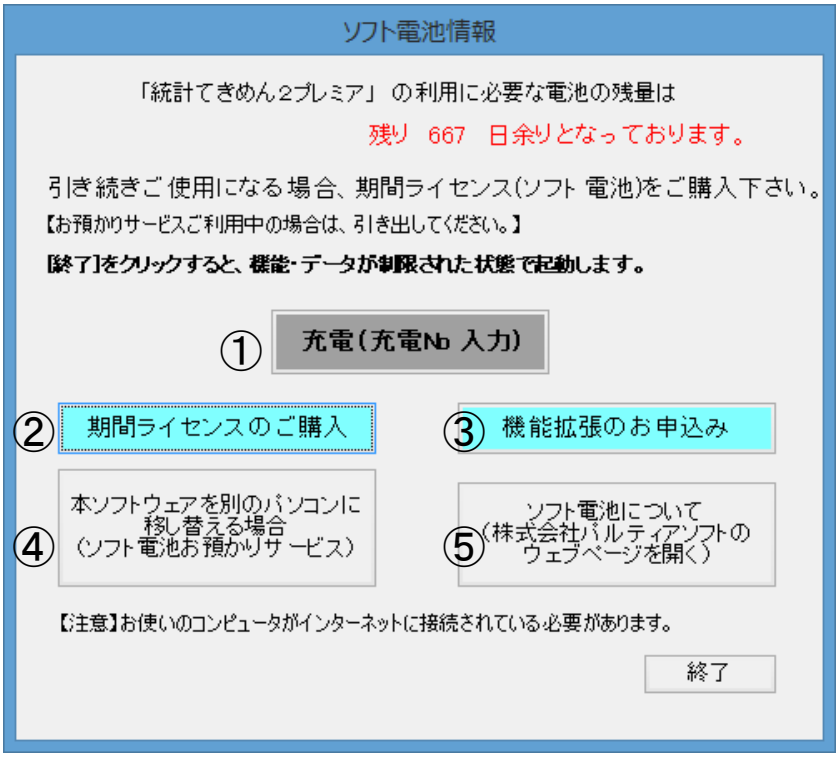
[メッシュの線の表示]

通常は、「**計算対象となるメッシュのみ表示**」が選択されています。
「**すべてのメッシュを同時に表示**」を選択すると、グリッド画面に
1,2,3,4次のすべてのメッシュ線が表示されます。

7. ソフト電池情報

ソフト電池の購入方法や
電池の使用期限の確認ができます。
また、ソフト電池の充電もここで
行えます。





①[充電(充電 No　入力)]

ソフト電池の充電 No を入力し、充電を行います。

②[期間ライセンスのご購入]

ソフト電池の購入方法が掲載されているソルブのウェブページを表示します(詳しくは 63 ページ)。

③[機能拡張のお申込み]

機能拡張サービスのお申込みページを表示します。

④[本ソフトウェアを別のパソコンに移し替える場合]

「ソフト電池お預かりサービス」についての説明画面を開きます。

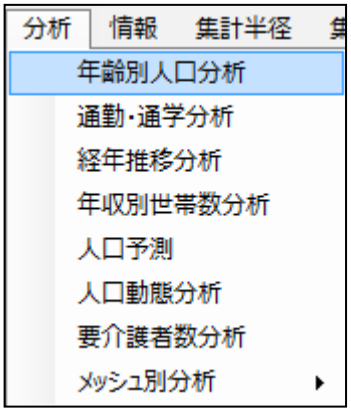
⑤[ソフト電池について]

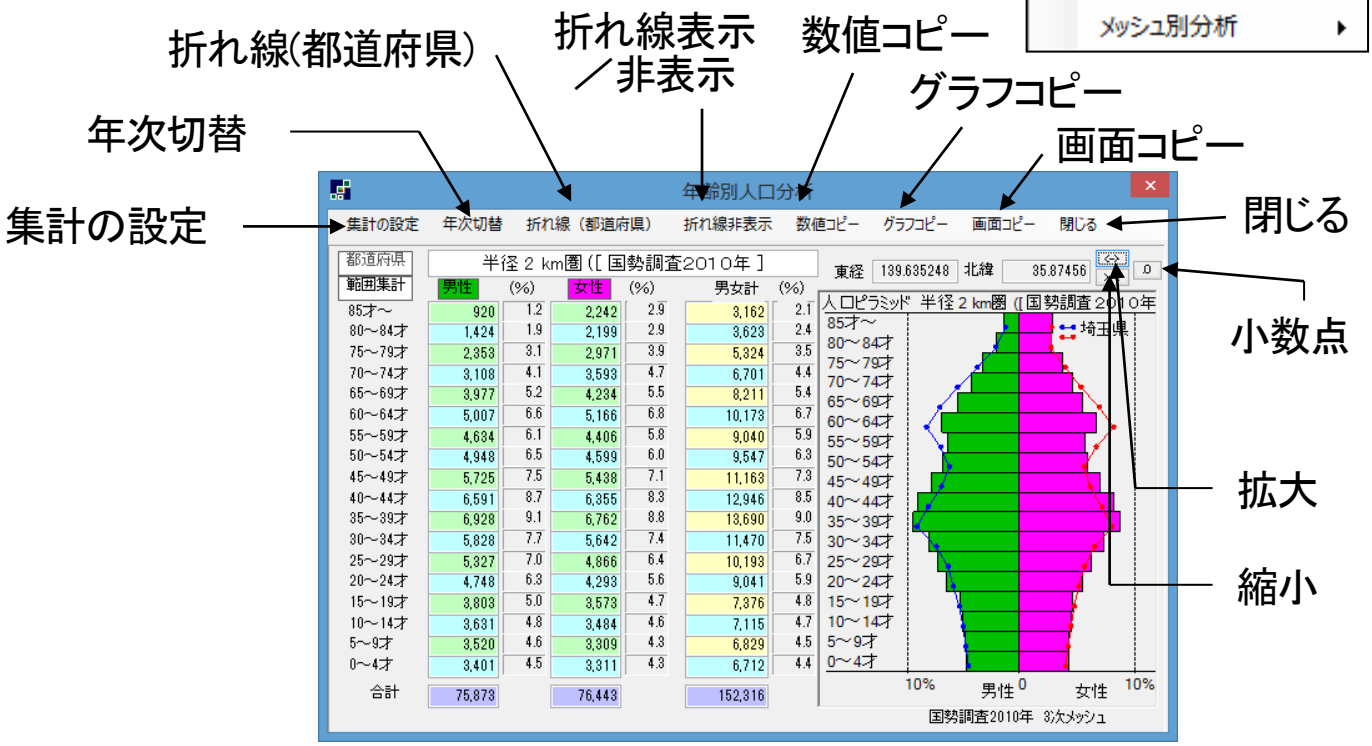
パルティソフト社の「ソフト電池ご利用案内」のページを表示します。

8. 分析機能について

（1）年齢別人口分析

メニューバーから[分析]→[年齢別人口分析]を選択すると、「年齢別人口分析」画面が開きます。





集計の設定	表示データ、集計半径、集計メッシュ等を設定します。
年次切替	調査年次 2015 年・2010 年・2005 年を切り替えます。
折れ線（都道府県）	都道府県別の折れ線グラフを重ねて表示します。
折れ線表示／非表示	折れ線グラフの表示・非表示を切り替えます。
数値コピー	年齢別男女別の数値データをコピーします。
グラフコピー	表示されたグラフをコピーします。
画面コピー	年齢別人口分析の画面全体をコピーします。
小数点	比率の小数点以下の桁数を 0～4 で切り替えます。
拡大　縮小	グラフを水平に拡大または縮小します。
閉じる	本画面を閉じます。

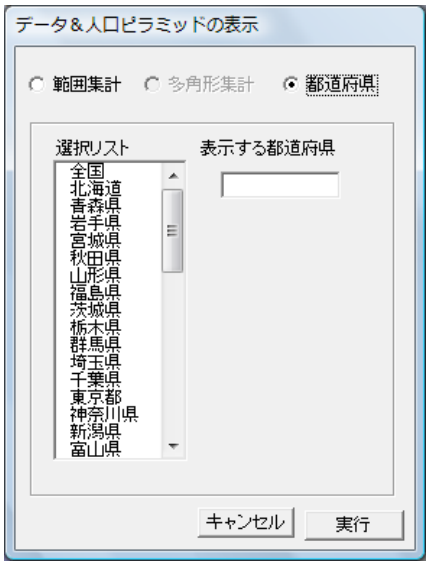
■ 集計の設定

[**集計の設定**]ボタンをクリックすると、通常は「範囲集計」に●印が入った画面が現れます(①)。「都道府県」に●印を入れると②のようになります。また、多角形集計中は、③のように「多角形集計」に●印が入ります。

(多角形集計について詳しくは 58 ページ)

①「範囲集計」

②「都道府県」



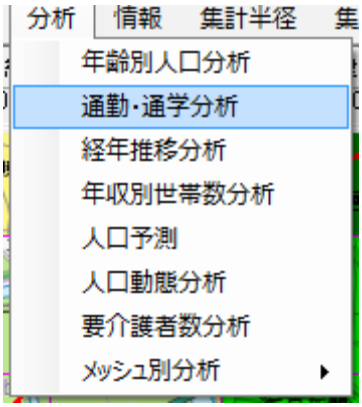
③「多角形集計」

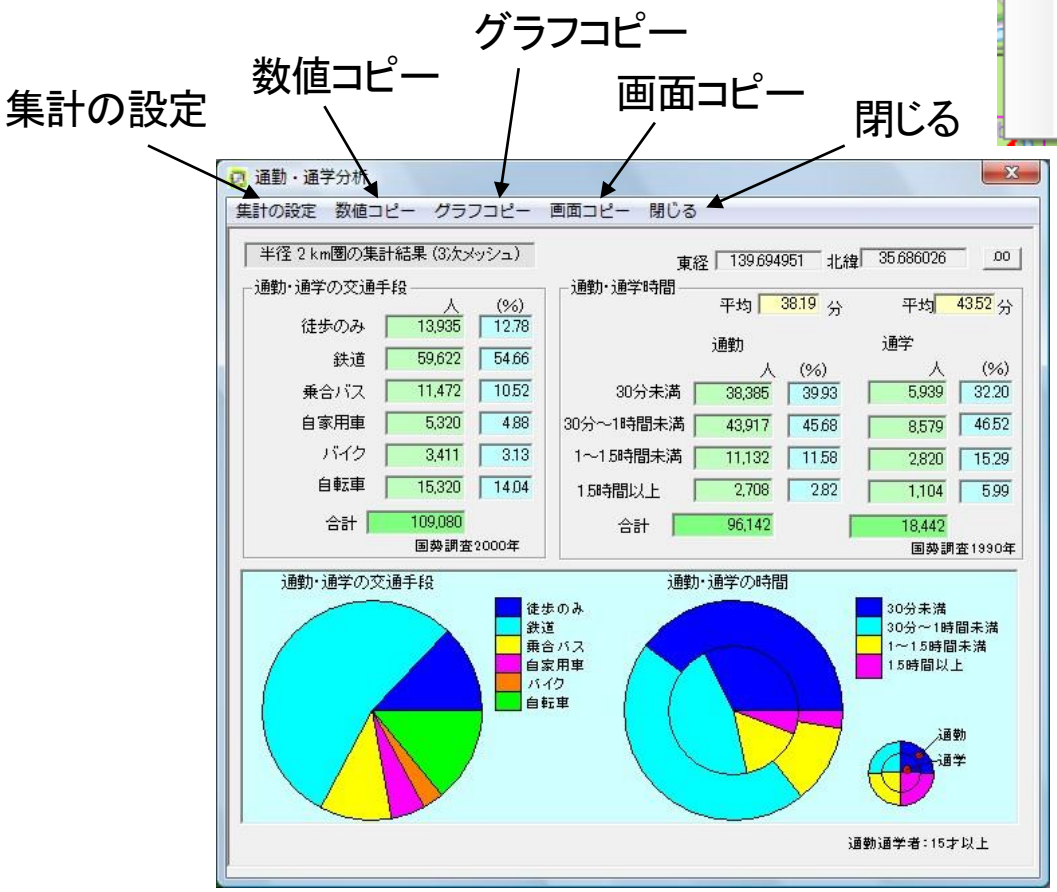
○「**範囲集計**」では、集計半径と集計メッシュを選択します。

○「**都道府県**」では、「全国」または、各都道府県を選択します。

（２）通勤･通学分析

メニューバーから[分析]→[通勤･通学分析]を選択すると、「通勤･通学分析」画面が開きます。





集計の設定	集計半径を変更します。 集計メッシュは3次メッシュのみです。
数値コピー	数値をコピーします。
グラフコピー	グラフをコピーします。
画面コピー	画面全体をコピーします。
閉じる	本画面を閉じます。

通勤･通学時間の平均は、「30 分未満」を 15 分、「30 分～1 時間未満」を 45 分、「1～1.5 時間未満」を 75 分、「1.5 時間以上」を 105 分に代えて計算しています。

■ 年次の注意

通勤･通学分析で用いているデータの調査年次は次の通りです。

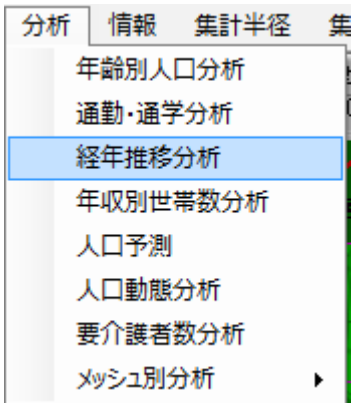
「通勤･通学の交通手段」:2000 年

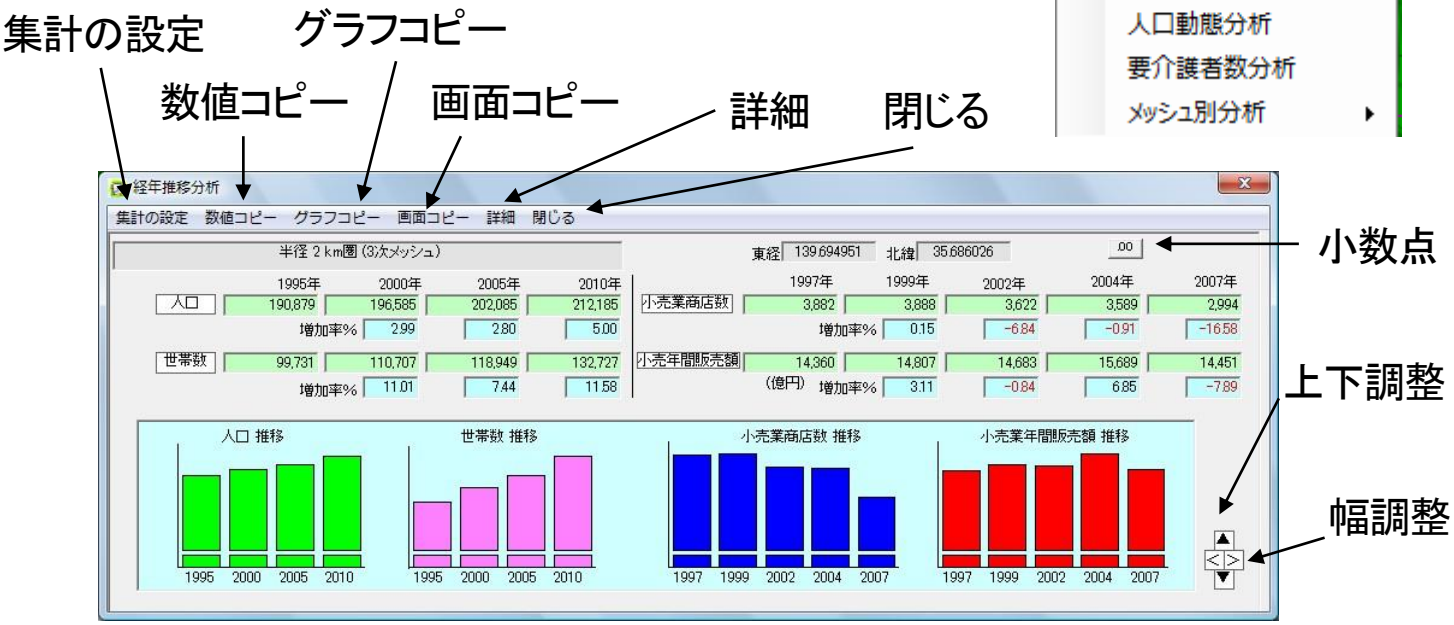
「通勤･通学の時間」:1990 年

(※)これより最新のデータは開示されておりません。

（３）経年推移分析

メニューバーから[分析]→[経年推移分析]を選択すると、「経年推移分析」画面が開きます。

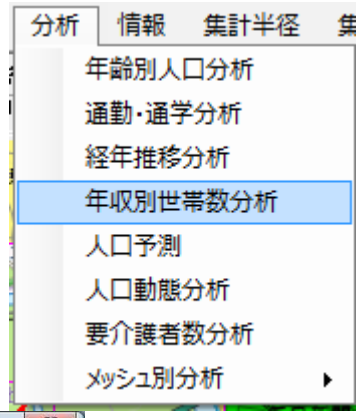


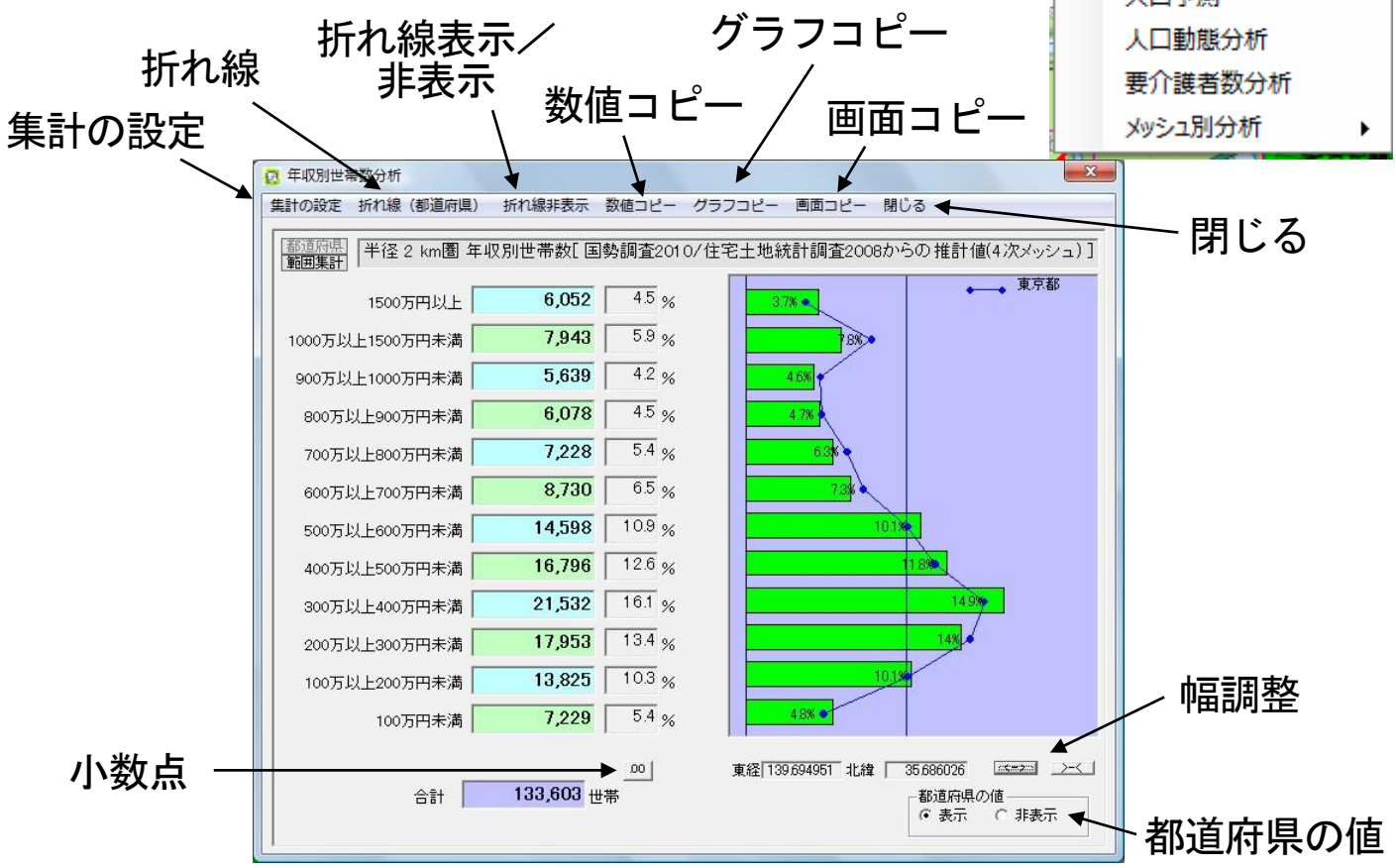


集計の設定	集計半径と集計メッシュを設定します。
数値コピー	「詳細」を含め数値をコピーします。
グラフコピー	グラフをコピーします。
画面コピー	画面全体をコピーします。
詳細	人口（男・女）年齢層別、小売業従業者数、小売業売り場面積のデータを表示します。
小数点	増加率の小数点以下桁数を切替えます。
上下調整	グラフの上下長さを調整します。
幅調整	グラフの幅を調整します。
閉じる	本画面を閉じます。

（4）年収別世帯数分析

メニューバーから[分析]→[年収別世帯数分析]を選択すると、「年収別世帯分析」画面が開きます。

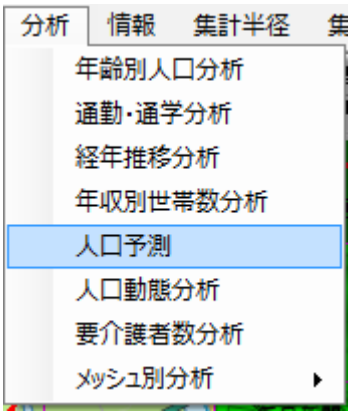


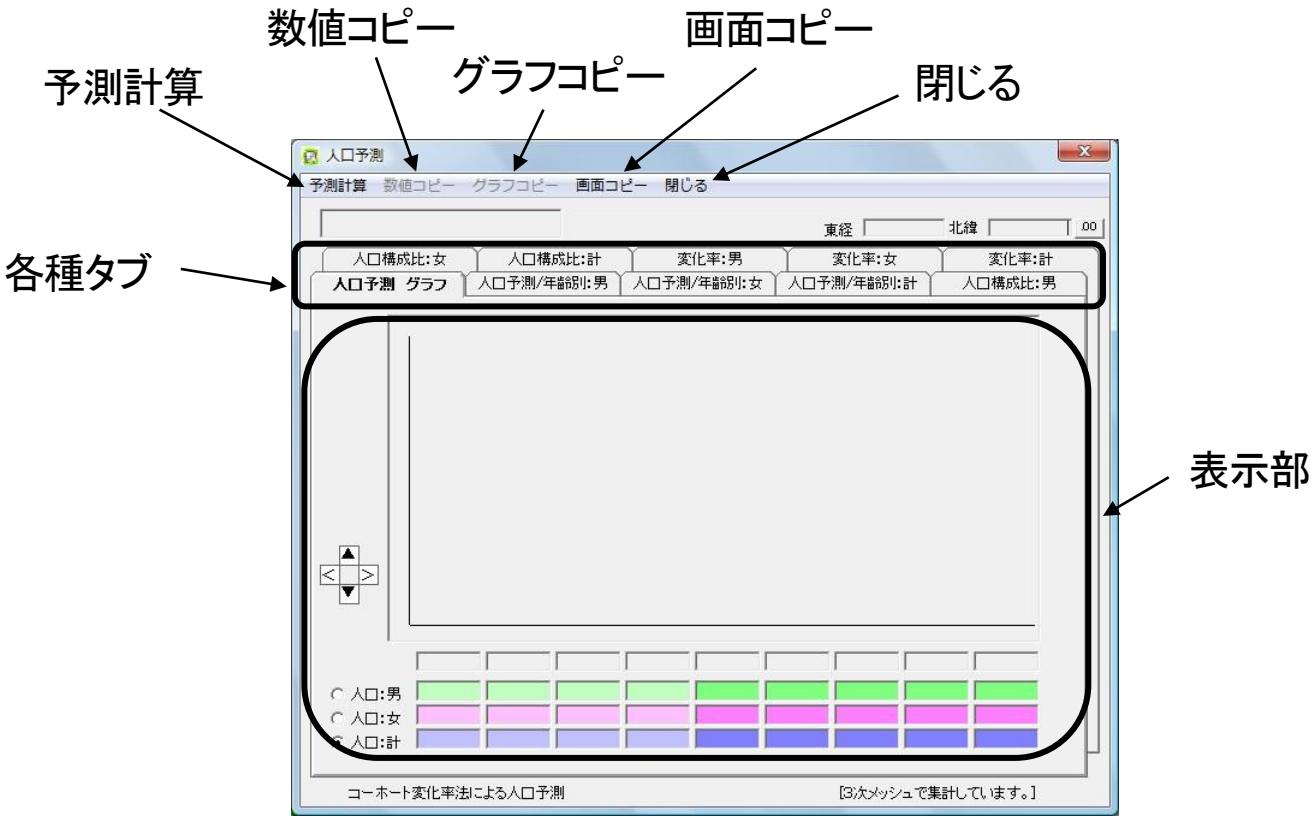


集計の設定	表示データ、集計半径、集計メッシュ等を設定します。（詳しくは 30 ページ）
折れ線	都道府県別推計値の折れ線を表示します。
折れ線非表示	折れ線を非表示にします。
数値コピー	数値をコピーします。
グラフコピー	グラフと数値をコピーします。
画面コピー	画面全体をコピーします。
小数点	割合の小数点以下桁数を調整します。
幅調整	グラフの幅を調整します。
都道府県の値	折れ線の値の表示・非表示を切り替えます
閉じる	本画面を閉じます。

（5）人口予測

メニューバーから[分析]→[人口予測]を
選択すると、「人口予測」画面が開きます。
「予測計算」をクリックすると、予測人口を計算します。
（※画面を開いただけでは自動計算はされません。）





予測計算	予測計算を行います。
数値コピー	数値をコピーします。
グラフコピー	グラフをコピーします。
画面コピー	画面全体をコピーします。
各種タブ	予測結果の表示を切り替えます。 （詳しくは次ページ）
表示部	予測結果を表示します。
閉じる	本画面を閉じます。

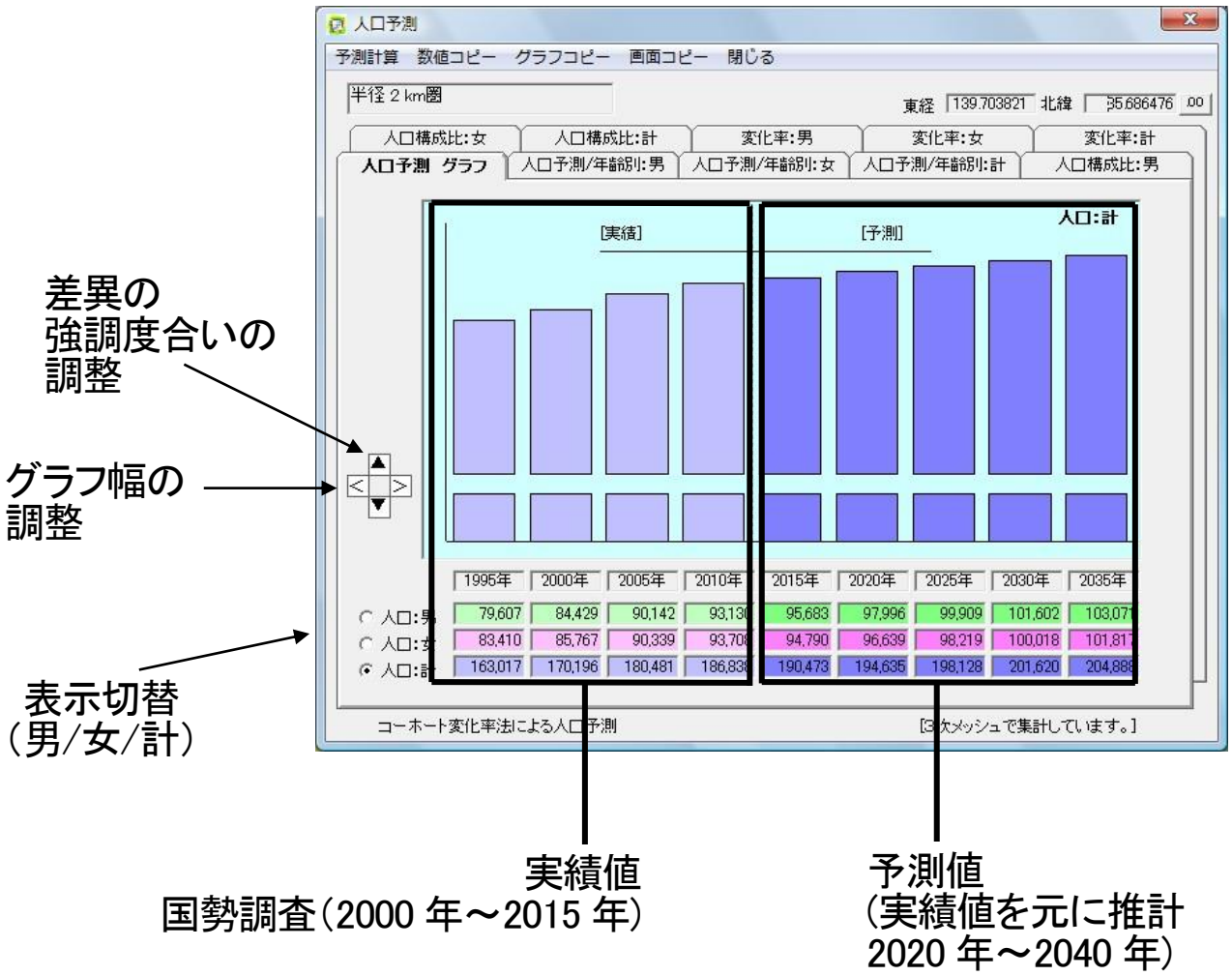
※人口予測は、「コーホート変化率法」を用いて推計しています。

※注意　「人口予測」は画面を開いただけでは自動計算されません。
[**予測計算**]をクリックしてください。

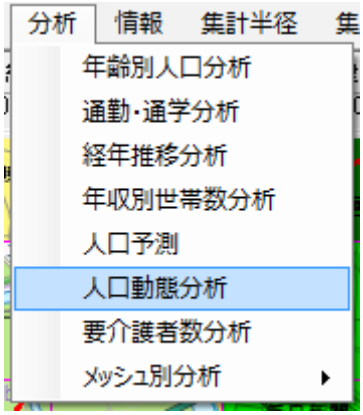
■各種タブ

人口予測　グラフ	予測結果をグラフで表示します。
人口予測/年齢別（男/女/計）	年齢別の人口を表します。
人口構成比（男/女/計）	年齢別の構成比を表します。
変化率（男/女/計）	年齢別の5年ごとの変化率を表します。

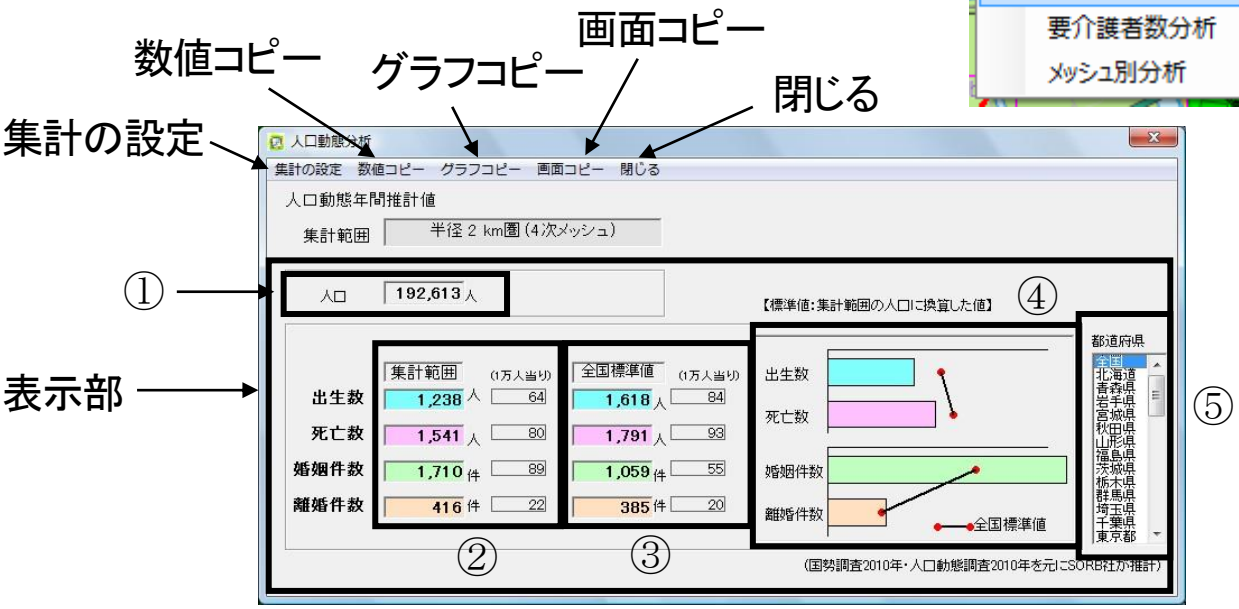
■グラフの見方



（6）人口動態分析



メニューバーから[分析]→[人口動態分析]を選択すると、「人口動態分析」画面が開きます。「出生数」「死亡数」「婚姻件数」「離婚件数」をそれぞれ推計します。



集計の設定	集計半径と集計メッシュを設定します。
数値コピー	「詳細」を含め数値をコピーします。
グラフコピー	グラフをコピーします。
画面コピー	画面全体をコピーします。
閉じる	本画面を閉じます。

■ 表示部について

①集計範囲内の人口総数（国勢調査 2010 年）を表示します。

②各項目について、**「集計範囲内の人口における数値」**と、**「1万人当りの数値」**をそれぞれ表示します。

③各項目について、⑤で選択されている都道府県における数値を、**「集計範囲内の人口に換算した数値（標準値）」**と**「1 万人当りに換算した数値」**として、それぞれ表示します。

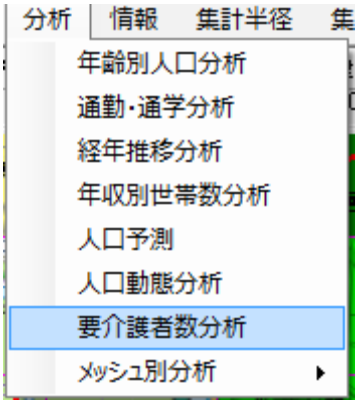
④集計範囲内の数値と⑤で選択された都道府県の標準値をグラフ形式で表示します。

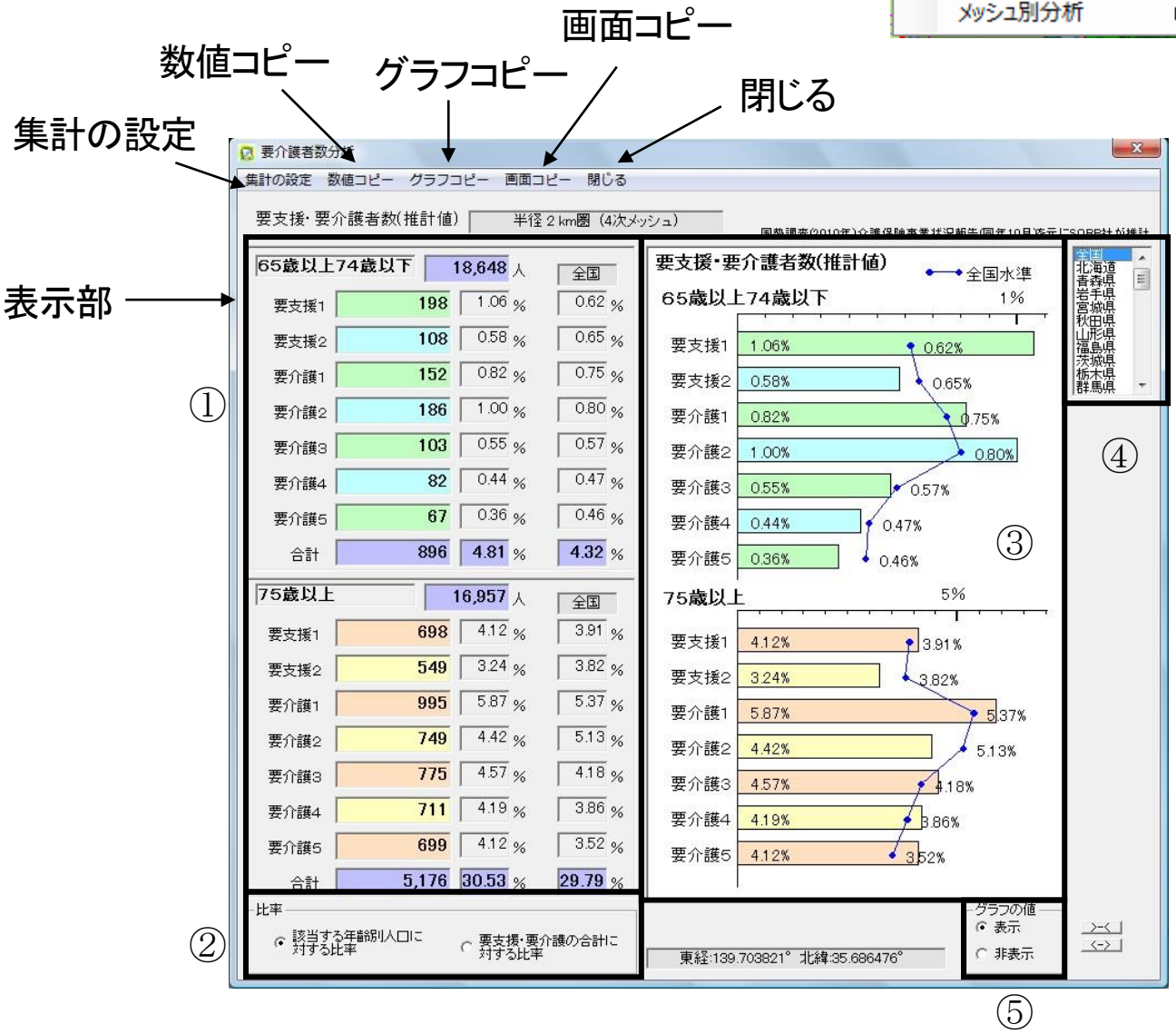
⑤標準値を表示する都道府県を選択します。

※「国勢調査 2010 年」「人口動態調査 2010 年」を元に推計しています。

（7）要介護者数分析

メニューバーから[分析]→[要介護者数分析]を選択すると、「要介護者数分析」画面が開きます。
「要介護度 7 階級別（要支援 2、要介護 5）」および「年齢別 2 階級別（65 歳～74 歳、75 歳以上）」に、要支援/要介護者数・比率を推計します。





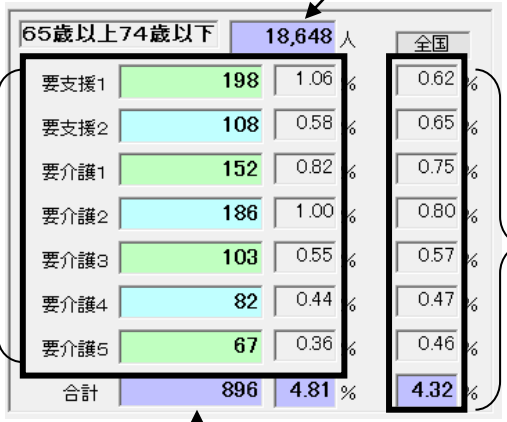
集計の設定	集計半径と集計メッシュを設定します。
数値コピー	「詳細」を含め数値をコピーします。
グラフコピー	グラフをコピーします。
画面コピー	画面全体をコピーします。
閉じる	本画面を閉じます。

■ 表示部について

①集計範囲内の年齢別人口・要支援/要介護者数・比率・都道府県の比率を、年齢階級「65 歳以上 74 歳以下」「75 歳以上」別に表示します。

例:65 歳以上 74 歳以下の場合

65 歳以上 74 歳以下の人口



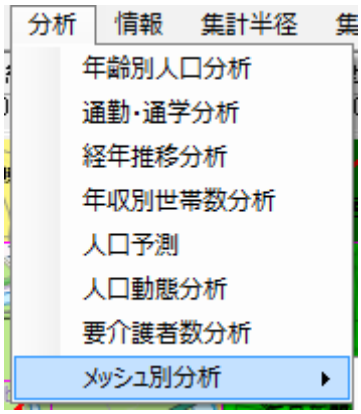
要介護度別推計値

選択された都道府県における水準

75 歳以上についても同様

65 歳以上 74 歳以下の要介護者の合計

②比率表示について、**「該当する年齢別人口に対する比率」と、「要支援・要介護の合計に対する比率」を切り替えます。**



（8）メッシュ別分析

グリッド画面内で、メッシュ別に、グラフを表示します。

[描画]:描画しなおします。

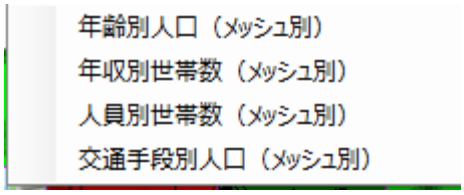
[隠す]:設定画面を一時的に消します。

[終了]:メッシュ別分析を終了します。

○グリッド画面が 20km以内で表示します。

○3次メッシュ、または、4次メッシュで表示します。

○世界測地系で表示します。



■年齢別人口　・・・年次、色、凡例の表示、強調を変えることができます。

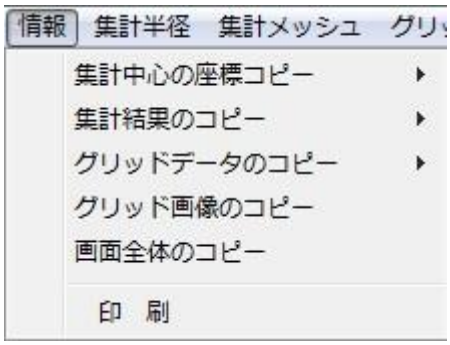
■年収別世帯数・・・色、凡例の表示、強調を変えることができます。

■人員別世帯数・・・色、凡例の表示、強調を変えることができます。

■交通手段別人口・・・色、凡例の表示、強調を変えることができます。

9. 集計結果やグリッド画像をコピーするには

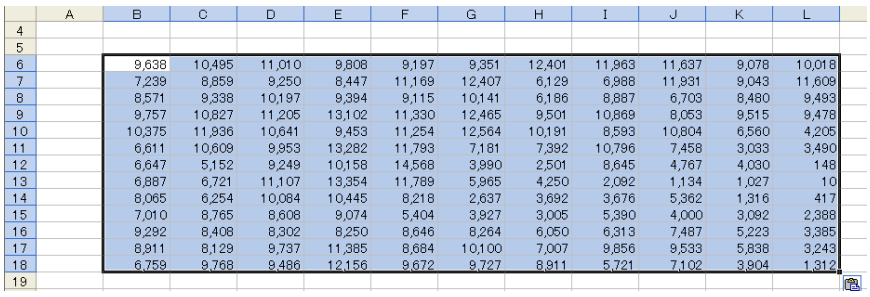
メニューバーで、[**情報**]を選択すると、さまざまな情報のコピーができます。



集計中心の座標コピー	経度(度単位)、緯度(度単位)　を選んだ時 例　：　139.695000　35.686275
	E°　′　″　N°　′　″ (度分秒)形式　を選んだ時 例：E139°　41′　42.00″　N35°　41′　10.59″
集計結果のコピー	統計項目名称/表題/単位付きでコピー
	データのみをコピー
グリッドデータのコピー （下図参照）	①**グリッド表示通りにコピー**　を選ぶとデータは縦横マス目状にコピーされます。
	②**メッシュ中心座標を付けてコピー**　を選ぶとメッシュの中心座標の経度と緯度、データの 3 列にコピーされます。
グリッド画像のコピー	グリッドのイメージ画像をコピーします。
画面全体のコピー	基本画面全体をコピーします。

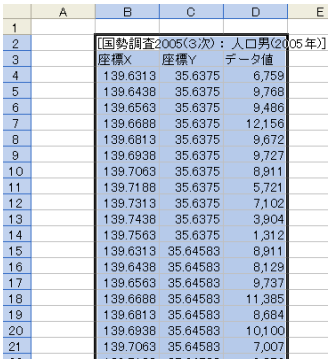
表計算ソフトに貼り付けた状態

①による貼付け



9,638	10,495	11,010	9,808	9,197	9,351	12,401	11,963	11,637	9,078	10,018
7,239	8,859	9,250	8,447	11,169	12,407	6,129	6,988	11,931	9,043	11,609
8,571	9,338	10,197	9,394	9,115	10,141	6,186	8,887	6,703	8,480	9,493
9,757	10,827	11,205	13,102	11,330	12,465	9,501	10,869	8,053	9,515	9,478
10,375	11,936	10,641	9,453	11,254	12,564	10,191	8,593	10,804	6,560	4,205
6,611	10,609	9,953	13,282	11,793	7,181	7,392	10,796	7,458	3,033	3,490
6,647	5,152	9,249	10,158	14,568	3,990	2,501	8,645	4,767	4,030	148
6,887	6,721	11,107	13,354	11,789	5,965	4,250	2,092	1,134	1,027	10
8,065	6,254	10,084	10,445	8,218	2,637	3,692	3,676	5,362	1,316	417
7,010	8,765	8,608	9,074	5,404	3,927	3,005	5,390	4,000	3,092	2,388
9,292	8,408	8,302	8,250	8,646	8,264	6,050	6,313	7,487	5,223	3,385
8,911	8,129	9,737	11,385	8,684	10,100	7,007	9,856	9,533	5,838	3,243
6,759	9,768	9,486	12,156	9,672	9,727	8,911	5,721	7,102	3,904	1,312

②による貼付け

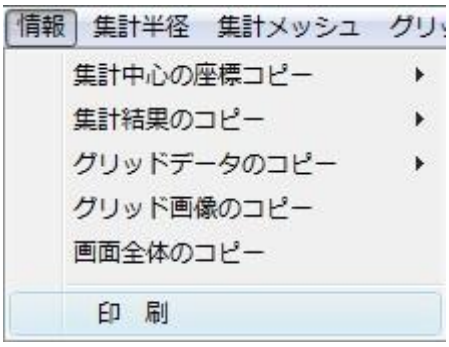


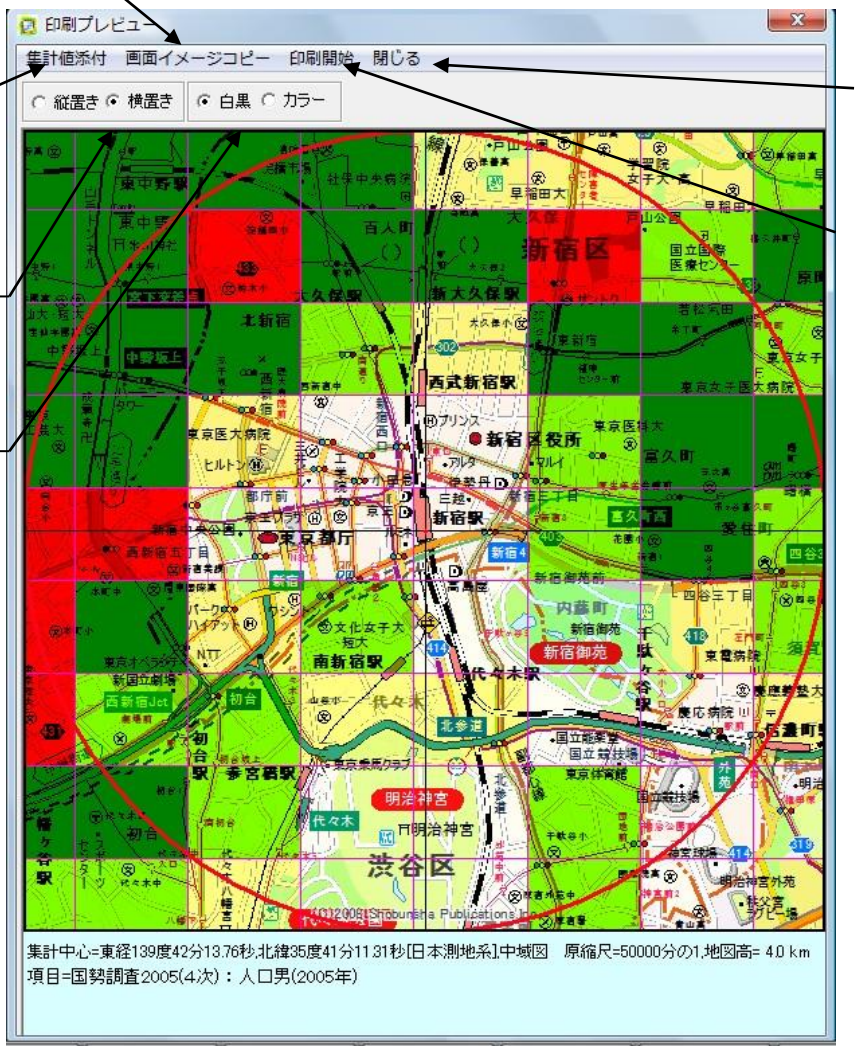
[国勢調査2005(3次)：人口男(2005年)]		
座標X	座標Y	データ値
139.6313	35.6375	6,759
139.6438	35.6375	9,768
139.6563	35.6375	9,486
139.6688	35.6375	12,156
139.6813	35.6375	9,672
139.6938	35.6375	9,727
139.7063	35.6375	8,911
139.7188	35.6375	5,721
139.7313	35.6375	7,102
139.7438	35.6375	3,904
139.7563	35.6375	1,312
139.6313	35.64583	8,911
139.6438	35.64583	8,129
139.6563	35.64583	9,737
139.6688	35.64583	11,385
139.6813	35.64583	8,684
139.6938	35.64583	10,100
139.7063	35.64583	7,007

10. 印刷するには

メニューバーで[情報]→[印刷]を選択すると、

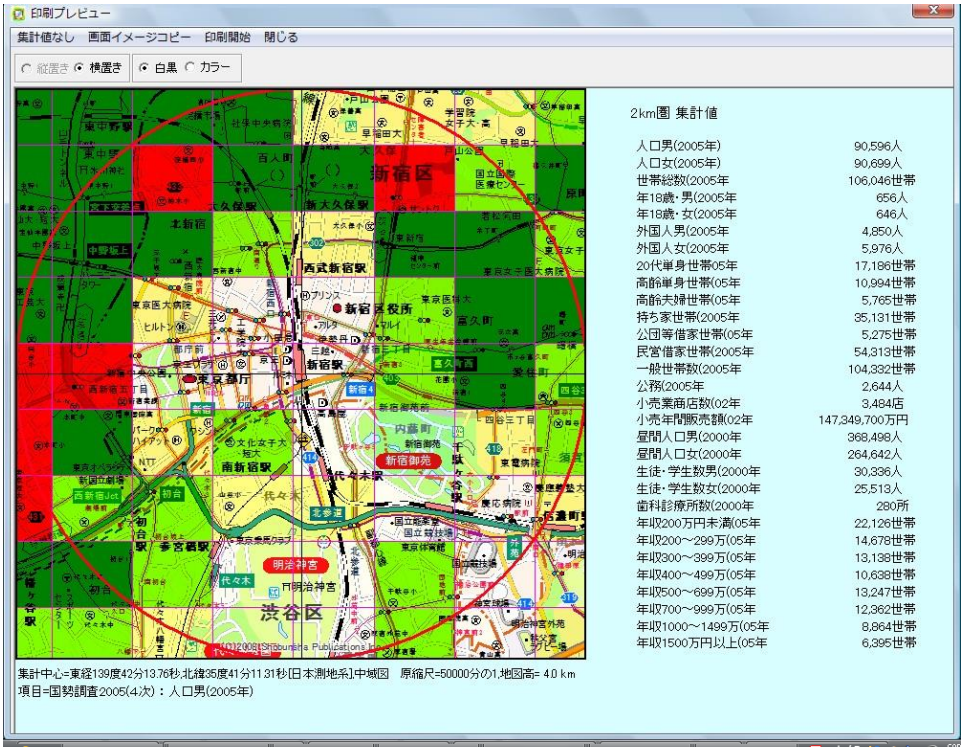
次のように[印刷プレビュー]画面が開きます。





集計値添付	この画面を広げて集計値を添付します。
画面イメージコピー	画面イメージをコピーします。
印刷開始	印刷を開始します。
閉じる	本画面を閉じます。
縦・横置き選択	印刷用紙に対しての置き方を切替えます。
白黒カラー選択	印刷時の白黒とカラーを切り替えます。

■　集計値を添付した状態



左上の[**集計値添付**]ボタンをクリックすると、

集計値が添付されたこのような状態で印刷ができます。

グリッド画面のみの印刷に戻す時は、

この状態で左上の[**集計値なし**]をクリックしてください。